PUB. DIJ-148

Canon

DV Network Software

使用説明書

ご使用の前に必ずお読みください

このたびは、キヤノン製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ソフトウェア使用許諾契約書

注意：この「ソフトウェア使用許諾契約書」（以下本契約といいます。）を注意深くお読みいただき、本契約に記載されるすべての権利および義務をご理解ください。本契約は、本ソフトウェアプログラム製品（オンラインマニュアルおよびその他の電子的文書が併せて提供される場合、これらを含み、以下「許諾ソフトウェア」といいます。）のお客様による使用について規定する、お客様とキヤノン株式会社（以下キヤノンといいます。）との間の法的な合意事項です。欄外の『同意する』のボタンをクリックすることにより、お客様は本契約に同意したことになります。お客様が本契約に同意できない場合、「許諾ソフトウェア」をインストールまたは使用することはできません。欄外の『同意しない』のボタンをクリックし、セットアッププログラムを終了して下さい。

1．許諾

（1）キヤノンはお客様に対し、「許諾ソフトウェア」を、キヤノンのデジタルビデオカメラ製品との使用の目的のために、お客様の複数のコンピュータにインストールして使用（『使用』とは、「許諾ソフトウェア」をコンピュータの記憶媒体上にインストールすること、または、コンピュータにおいて表示すること、アクセスすること、読み出すこと、もしくは実行することのいずれをもいいます。）するための譲渡不能且つ移転不能の非独占的権利を許諾します。
（2）お客様は、上記（1）に基づき「許諾ソフトウェア」を使用するためのバックアップ目的のためにのみ、「許諾ソフトウェア」を１部複製することができます。但し、お客様は、かかるバックアップコピーに、「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を同一の態様で複製しなければなりません。
（3）お客様は、本契約上で明示的に許諾されている場合を除き、「許諾ソフトウェア」を第三者に譲渡、再実施許諾、販売、賃貸、リースもしくは貸与すること、または「許諾ソフトウェア」を複製、翻訳もしくは他のプログラミング言語に変換することはできません。
（4）お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバース・エンジニアリング等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。
（5）お客様は、「本ソフトウェア」に含まれるキヤノンまたはそのサプライヤーの著作権表示を変更、除去、または削除してはなりません。
（6）本契約に明示的に定める場合を除き、キヤノンおよびそのサプライヤーのいかなる知的財産権も、明示たると黙示たるとを問わず、キヤノンによってお客様に譲渡あるいは許諾されるものではありません。

2．権利帰属

著作権を含む、「許諾ソフトウェア」に係る一切の権原および所有権は、キヤノンおよびそのサプライヤーに帰属します。

3．輸出

お客様は、日本国政府または関連する外国政府より必要な認可等を得ることなしに、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。

4．サポートおよびアップデート

キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」の

メンテナンスおよびお客様による「許諾ソフトウェア」の使用を支援することについて、いかなる責任も負うものではありません。また、本契約に基づき「許諾ソフトウェア」に対してアップデート、バグの修正あるいはサポートがなされることはありません。

5．保証の否認・免責

（1）「許諾ソフトウェア」は、『現状のまま（AS-IS）』の状態で使用許諾されます。キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」に関して、商品性および特定の目的への適合性の保証を含め、いかなる保証も、明示たると黙示たるとを問わず一切しないものとします。

（2）キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益およびその他の派生的または付随的な損害を含むがこれらに限定されない）について、一切責任を負わないものとします。たとえ、キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

（3）キヤノン、キヤノンの子会社、それらの販売代理店および販売店は、「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じるいかなる紛争についても、一切責任を負わないものとします。

6．契約期間

（1）本契約は、お客様が、『同意する』のボタンをクリックした時点で発効し、下記（2）または（3）により終了されるまで有効に存続します。

（2）お客様は、「許諾ソフトウェア」（そのバックアップコピーを含むものとします。以下同じ。）を廃棄し、且つ、インストール済みのすべての「許諾ソフトウェア」を消去することにより、本契約を終了させることができます。

（3）お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、本契約は直ちに終了します。

（4）お客様は、上記（3）による本契約の終了後直ちに、「許諾ソフトウェア」を廃棄し、且つ、インストール済みのすべての「許諾ソフトウェア」を消去するものとします。

（5）本契約のいかなる条項にかかわらず、本契約第2条および第4条から第6条の規定は本契約の終了後も効力を有するものとします。

7．分離可能性

本契約のいかなる条項が無効となった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有するものとします。

8．U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.72024 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein. Manufacturer is Canon Inc./30-2, Shimomaruko 3-chome, Ohta-ku, Tokyo 146-8501, Japan.
本条において、“the Software” という語は、本契約における「許諾ソフトウェア」を意味するものとします。

以上
キヤノン株式会社

もくじ

DV Messenger Version2

AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバー IEEE1394

こんなときは

はじめに

⚠注意

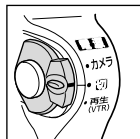
① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
② 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
③ 本書の内容については万全を期していますが、万一、不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、最寄りのキヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
④ このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

● Canonは、キヤノン株式会社の登録商標です。
● Microsoft®およびWindows®は、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
● AdobeおよびAcrobatは、Adobe Systems Incorporated （アドビシステムズ社）の商標です。
● その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
● AV/C Camera Storage Subunitは、IEEE1394を搭載したAV機器を使用して、ファイルの取得および書き込みを行うための規格です。本ドライバーは、IEEE1394の国際標準化団体であるIEEE1394 Trade Associationで定められた「AV/C Camera Storage Subunit Ver1.0」規格に準拠しています。
● WIAは、Windows Image Acquisitionの略称です。画像入力機器から画像を取り込むためのドライバーソフトウェアです。Windows XPに標準搭載されています。

■ 本書の記載について

● 本書では、デジタルビデオカメラを略して「ビデオカメラ」と記載していますが、デジタルビデオカメラと明記したほうがよい個所では、「デジタルビデオカメラ」と記載しています。
● 本書では、DV Messenger Version2を略して「DV Messenger」と記載していますが、DV Messenger Version2と記載したほうがいい個所では、「DV Messenger Version2」と記載しています。
● 本書では、ビデオカメラの設定（電源スイッチの位置など）を、つぎのように表記しています。
・ カメラモード： テープに映像や音声を録画するための設定
・ 再生（VTR）モード：テープに録画した映像や音声を再生するための設定
・ カード再生モード：メモリーカードに記録した画像を再生するための設定
・ ネットワークモード：DV Messengerを使うために、ビデオカメラをパソコンに接続するときの設定
● 本書では、電源スイッチに「ネットワークモード」があるビデオカメラで説明しています。電源スイッチに「ネットワークモード」がないビデオカメラの場合は、「（ネットワークモードがないビデオカメラの場合）」の説明をご覧ください。

ネットワークモードがある場合の例

ネットワークモードがない場合の例

● 本書で、使用している画面は変わることがありますので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
付属のCD-ROMをCD-ROM対応ドライブ以外では絶対に再生しないでください。 音楽用CDプレーヤーで使用した場合は、スピーカーなどを破損する恐れがあります。またヘッドホンなどをご使用になる場合は、大音量により耳に障害を与えたり、スピーカーを破損させたりする恐れがあります。	 禁止

動作環境

OS：	Microsoft Windows XP Home EditionまたはProfessional（Service Pack 1の適用を推奨） Windows XPプリインストール機に対応しています。OSのアップグレード環境での動作は保証いたしません。
CPU：	Pentium 500MHz以上（800MHz以上を推奨）
メモリー：	128MB以上（256MB以上を推奨）
インターフェース：	USBインターフェース（1.1／2.0）またはOHCI対応IEEE1394インターフェース
ハードディスク空き容量：	DV Messenger：100MB以上 Canon USB Videoドライバー：1MB以上 AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバー：1MB以上
ディスプレイ：	800×600ドット（1024×768ドット以上を推奨） ハイカラー（16bit）以上必要
その他：	Windows MessengerのVersion 4.5、4.6、4.7（Microsoft社） サウンド機能、インターネット機能* * アナログモデムによるダイアルアップ接続でもお使いになれますが、ADSLなどの高速回線の使用をおすすめします。

❍ デュアルCPUパソコンや自作パソコンで使用した場合の動作は保証いたしません。

❍ 上記、推奨環境を満たした、すべてのパソコンの動作を保証するものではありません。

❍ 1台のパソコンに2台以上のビデオカメラを接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

❍ ソフトをインストールするためには、CD-ROMドライブが必要です。

❍ USBケーブルで接続する場合
- ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで直接接続してください。USBハブを経由していると、正しく動作しないことがあります。
- USBマウス、USBキーボードを除く、他のUSB接続の機器と同時に動作させると、正しく動作しないことがあります。その場合には、他のUSB接続の機器をパソコンからはずして、再度ビデオカメラを接続してください。
- USB2.0対応ボードとの接続は、すべての動作を保証するものではありません。

❍ DV（IEEE1394）ケーブルで接続する場合
- ビデオカメラとパソコンをDV（IEEE1394）ケーブルで直接接続してください。リピーター、もしくはその他のIEEE1394機器を経由して接続した場合や、1台のパソコンに複数のIEEE1394機器が接続されている場合には、正しく動作しないことがあります。
- AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバー動作中に、他のIEEE1394機器を接続すると、正しく動作しないことがあります。

ソフトウェアの紹介

DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK for Windows（デジタル ビデオ ソリューション ディスク フォー ウインドウズ）の「DV Network Softwareのインストール」には、DV Messenger Version2、Canon USB Videoドライバー、AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーの3つのソフトが収められています。

DV Messenger Version2

DV Messenger Version2は、Windows XPに標準で搭載されているWindows Messengerと連動して動作するソフトです。

DV Messenger Version2は機能が追加されたため、DV Messenger Version1とは互換性がありません。そのため、通信相手がDV Messenger Version1をお使いの場合には、通信できません。無償ダウンロードサービスを利用して、DV Messenger Version2にバージョンアップするよう、通信相手に紹介してください。

お持ちのデジタルビデオカメラとインターネットを使って、次の動作を楽しめます。

■ リアルタイムカメラ動画通信（テレビ電話）（📖35）

パソコンに接続したビデオカメラを通して、映像と音声をリアルタイムに送信し、テレビ電話のように通信相手と会話できます。

■ ビデオカメラの操作（📖45）

キヤノン製デジタルビデオカメラのみ（10ページの表を参照）

お使いのパソコンに接続したビデオカメラと、通信相手のビデオカメラを操作できます。

■ ビデオ動画通信（📖47）

ビデオテープで撮影したテープの映像と音声を、通信相手に送信できます。

■ 画像転送（📖50）

キヤノン製デジタルビデオカメラのみ（10ページの表を参照）

通信相手のビデオカメラ内の、メモリーカードに記録されている画像ファイルを、自分のパソコンに取り込めます。

■撮影機能（📖55）

キヤノン製デジタルビデオカメラのみ（10ページの表を参照）

自分のパソコンに接続したビデオカメラや通信相手のパソコンに接続したビデオカメラで撮影した静止画を自分のパソコンに取り込めます。

■ リモート留守番カメラ（📖59）

キヤノン製デジタルビデオカメラのみ（10ページの表を参照）

外出先からDV Messengerで自宅のパソコンに接続して、ビデオカメラを通した映像を見られます。（自宅のパソコンとビデオカメラの電源を入れておく必要があります。）

Canon USB Videoドライバー USB

キヤノン製デジタルビデオカメラのみ（下記の表を参照）

Canon USB Videoドライバーは、ネットワークモードのあるUSB端子を搭載したデジタルビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで接続して、DV Messenger Version2でテレビ電話を行うためのソフトです。

AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバー IEEE1394

キヤノン製デジタルビデオカメラのみ（下記の表を参照）

AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーは、DV（IEEE1394）端子を搭載したデジタルビデオカメラとパソコンをDV（IEEE1394）ケーブルで接続して、ビデオカメラをメモリーカードリーダー／ライターのように使用するソフトです。

■ ビデオカメラ内のメモリーカードに記録されたファイルを、パソコンに取り込めます（📖65）

■ パソコン上のファイルを、ビデオカメラ内のメモリーカードに記録できます（📖71）

DV NETWORK SOLUTION DISK Version1に収録されているAV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーをインストールしていて、DV Messenger Version2をインストールする場合は、必ず「DVネットワークソフトウェア」に収められている最新版のドライバーをインストールしてアップデートしてください（アンインストールは不要です。そのままインストールしてください）。

キヤノン製デジタルビデオカメラで使用できる機能について

・お使いのキヤノン製デジタルビデオカメラにより、一部使用できない機能があります。
下記の表でご確認ください。
なお、最新の機種については、キヤノンのホームページでご確認ください。

●すべての機能が使用できます。

FV M1	IXY DV M2

●リモート留守番カメラ、撮影機能は使用できません。また、USBケーブルで接続できません（Canon USB Videoドライバーが使用できません）。

FV30	FV40	FV M10	IXY DV3	IXY DV5	IXY DV M	XV2

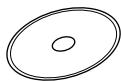
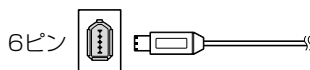
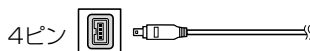
●リモート留守番カメラ、撮影機能、AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーは使用できません。また、USBケーブルで接続できません（Canon USB Videoドライバーが使用できません）。通信相手のビデオカメラが以下の場合、画像転送はできません。

FV2	FV10	FV20	FV100	FV200	FV300
IXY DV(PV2)	IXY DV2	PV1	PV130	XL1S	XV1

用意するもの

次のものが必要です。

●デジタルビデオカメラ

●DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK for Windows（付属）

●USBケーブルまたはDV（IEEE1394）ケーブル
ネットワークモードがないビデオカメラでは、DVケーブルをお使いください。DVケーブルをご使用の際は、お使いのパソコンに搭載されているIEEE1394（DV）端子の形状をご確認のうえ、お選びください。

●スピーカーまたはヘッドホン（DV Messenger使用時）

必ずお読みください

●長時間（24時間以上）ビデオカメラの電源を入れておくと、発熱などによりビデオカメラを傷める可能性があります。使い終わったら、ビデオカメラの電源を切ってください。

●長時間（24時間以上）テープをビデオカメラ内に入れておくと、テープが傷む恐れがあります。テープを保護するために、ビデオカメラに入れたまま放置しないでください。

●リモート留守番カメラ機能やインターバル撮影では長時間ビデオカメラは電源が入ったままになります。
火災の発生などを避けるため、次のことに注意してください。
1. 高温あるいは高湿になる場所で使用しない
2. 直射日光の当たる場所で使用しない
3. 布、衣服などでカメラを覆って使用しない
4. 箱に入れるなど、狭い空間に収納して使用しない
5. 屋外で使用しない

DV Messengerを使用するために

DV Messengerを使用するためには、Microsoft Windows XPが搭載され、Windows Messenger Version 4.5、4.6、4.7のいずれかが正しく動作することが必要です。
DV Messengerをインストールする前に、必ず次のことを確認してください。

① お使いのパソコンに、Windows XPがインストールされ、Windows Messenger Version 4.5、4.6、4.7のいずれかが搭載されていること*。
② Windows Messengerが動作し、音声チャットまたはビデオチャットができていること*。
③ インターネットに接続する際に、ルーターをご使用の場合、ルーターがUPnP（ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ）対応ルーターであること**。（一部のモデムでは、ルーター機能を搭載している物があります。詳しくは、モデムの使用説明書等でご確認ください。）

* 本ソフトウェアは、Windows XPのみに対応しています。その他のOSではご使用いただけません。また、Windows Messengerは Version 4.5、4.6、4.7のいずれかで正しく動作することが必要です。
使用できる環境を準備してください。詳しくはMicrosoft社にお問い合わせください。

** 本ソフトウェアは、ルーターを使用する場合、UPnP（ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ）対応のルーターが必要です。またWindowsのネットワーク上でUPnP対応ルーターが「インターネットゲートウェイデバイス」として認識されている必要があります（□ 23）。
その他のルーターでは、ご使用いただけません。詳しくはご契約のインターネットサービスプロバイダーまたは回線業者、ルーターの製造メーカーにお問い合わせいただくか、ルーターの使用説明書等でご確認ください。

DV Messengerを使用すると、ビデオカメラに入っているテープやメモリーカードの記録内容を通信相手が受信できます。記録内容の保護には、十分注意してご使用ください。

無償ダウンロードサービス

通信したい相手が、DV Messengerをお持ちでない場合、または、DV Messenger Version 1をお持ちの場合、キヤノンのホームページ（http://www.canon.co. jp）から無償でダウンロードできます。

ソフトウェアをインストールする

「DVネットワークソフトウェア」をインストールする

DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK for Windowsの「DV Network Softwareのインストール」からソフトウェアをインストールすると、DV Messengerがインストールされ、Canon USB VideoドライバーとAV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーがパソコンにコピーされます。なお、Canon USB Videoドライバー、AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーは、パソコンにコピーされた後、ビデオカメラをパソコンに接続したときにインストールされます。Canon USB Videoドライバーのインストールのしかたについて16ページを、AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーのインストールのしかたについては17ページをご覧ください。

❍ **「DVネットワークソフトウェア」をインストールするときは、パソコンにビデオカメラを接続しないでください。**

❍ Windows MessengerのVersionが4.5、4.6、4.7のいずれかでない場合には、DV Messengerをインストールできません。Microsoft社のホームページからWindows MessengerのVersion 4.7をダウンロードし、アップデートしてください。詳しくは、Microsoft社にお問い合わせください。

❍ Windows XP Professionalをお使いのかたは、Administrator権限でログオンしてからインストールを行ってください。

❍ インストールを始める前に、使用中のソフトをすべて終了してください。

1. パソコンを起動し、DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK for WindowsをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

・インストーラーパネルが、自動的に表示されます。

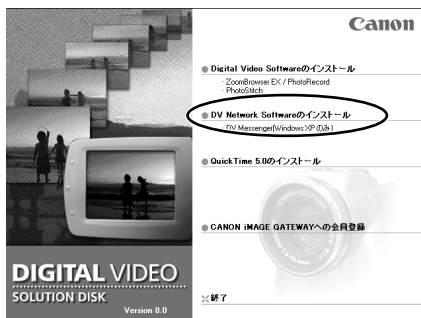
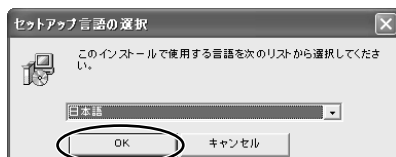
・インストーラーパネルが表示されないときは、次の操作をしてください。

①[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]を選ぶ。

②CD-ROMアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[開く]を選ぶ。

③[Setup. exe]をダブルクリックする。

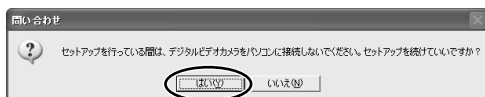
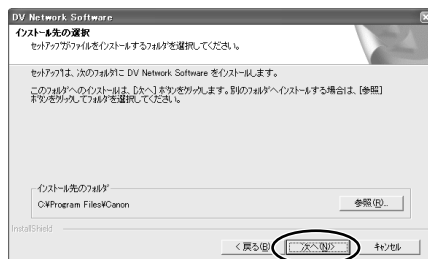
お使いのパソコンにより、[.exe]という拡張子が表示されないことがあります。

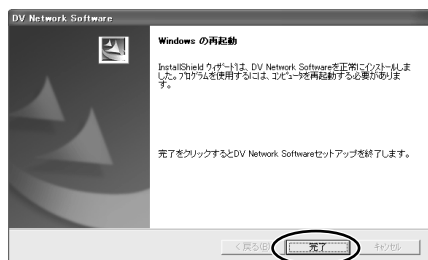
2. [DV Network Softwareのインストール]をクリックする。

3. 言語の選択画面が表示されたら［日本語］を選択して［OK］をクリックする。

・Windows MessengerのVersionが4.5、4.6、4.7でない場合には、DV Messengerをインストールできないことを知らせるメッセージ画面が表示されます。
DV MessengerをインストールしないでAV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーのみをインストールする場合は、画面を閉じて操作を進めてください。
DV Messengerをインストールする場合は、メッセージ画面を閉じた後にインストールの案内の画面が表示されたら［キャンセル］をクリックしてインストールを一度中止して、Windows Messengerをバージョンアップしてからもう一度インストールしてください。

4. インストールの準備が完了し、インストールの案内の画面が表示されたら［次へ］をクリックする

5. インストールするソフトウェアを選び、［次へ］をクリックする

6. 使用条件の確認画面が表示されたら、内容を読んで［同意する］をクリックする

7. [はい]をクリックする

8. インストール先を確認して［次へ］をクリックする

・DV Messengerをインストールする場合、インストールが完了して、デスクトップにDV Messengerのショートカットアイコンを作成するかどうかをたずねる画面が表示されたら［はい］をクリックしてください。

9. 完了画面が表示されたら、[完了]をクリックする

・パソコンが再起動され、インストールが完了します。

インストールが終わったら、ビデオカメラを接続する前に、かならずDIGITAL VIDEO SOLUTION DISK for Windowsをパソコンから取り出してください

Canon USB Videoドライバーをインストールする USB

- ❍ Canon USB Videoドライバーはネットワークモードがあるビデオカメラで使用します。
- ❍ 本ドライバーをインストールする前に、DV Network Softwareをインストールして、ドライバーファイルをコピーしておいてください。
- ❍ 本ドライバーのインストールを始める前に、使用中のソフトをすべて終了してください。
- ❍ 本ドライバーのインストールが終了するまで、絶対にビデオカメラの電源を切らないでください。また、絶対にインストールを中断しないでください。
- ❍ Windows XP Professionalをお使いのかたは、Administrator権限でログオンしてからインストールを行ってください。

1. ビデオカメラにコンパクトパワーアダプターを接続する

2. ビデオカメラをネットワークモードにする

3. USBケーブルで、ビデオカメラとパソコンを接続する（□20）

- ・ドライバーのインストールが自動的に始まります。
- ・インストールが完了すると、起動するアプリケーションソフトを選ぶ画面が表示されます。［キャンセル］をクリックして、画面を閉じてください。

4. パソコンを再起動する

5. ドライバーが正しくインストールできたかを確認する

- ・［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を選び、［Canon USB Video］アイコンがあることを確認してください。このアイコンが表示されない場合は、正しくインストールされていません。ドライバーをアンインストール（□74）してから、インストールし直してください。

AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーをインストールする IEEE1394

❍ 本ドライバーをインストールする前に、DV Network Softwareをインストールして、ドライバーファイルをコピーしておいてください。
❍ 本ドライバーのインストールを始める前に、使用中のソフトをすべて終了してください。
❍ 本ドライバーのインストールが終了するまで、絶対にビデオカメラの電源を切らないでください。また、絶対にインストールを中断しないでください。
❍ Windows XP Professionalをお使いのかたは、Administrator権限でログオンしてからインストールを行ってください。

1. ビデオカメラにコンパクトパワーアダプターを接続する

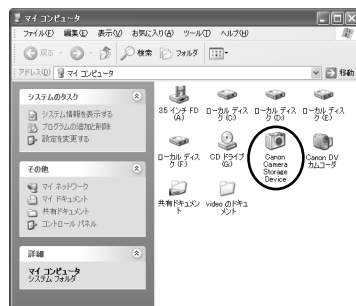
2. ビデオカメラをネットワークモードまたはカード再生モードにする（ネットワークモードのないビデオカメラの場合:カード再生モードにする）

3. DVケーブルで、ビデオカメラとパソコンを接続する（📖20）

・ドライバーのインストールが自動的に始まります。
・お使いのパソコンの設定により、ビデオ編集用ソフトが自動的に起動することがあります。起動したソフトを終了してください。
・インストールが完了すると、[スキャナとカメラ ウィザード]が起動するか、起動するソフトを選ぶ画面が表示されます。[キャンセル]をクリックして、画面を閉じてください。

4. パソコンを再起動する

5. ドライバーが正しくインストールできたかを確認する

・[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選び、[Canon Camera Storage Device]アイコンがあることを確認してください。このアイコンが表示されない場合は、正しくインストールされていません。ドライバーをアンインストール（📖74）してから、インストールし直してください。

■ ソフトウェアの自動起動の設定を変える

ドライバーをインストールしたときには、ビデオカメラをパソコンに接続するたびに、使用するソフトをたずねる画面が起動する設定になっています。設定の変更のしかたは、次のとおりです。
・DV Messengerを使用する場合は、「何もしない」に設定してください。

1. ビデオカメラにコンパクトパワーアダプターを接続する

2. ビデオカメラをネットワークモードまたはカード再生モードにする

3. DVケーブルで、ビデオカメラとパソコンを接続する（ 📖20）

4. ［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を選ぶ

5. ［Canon Camera Storage Device］アイコンを右クリックする

6. 表示されるメニューから「プロパティ」を選び、クリックする

7. ［イベント］タブをクリックする

8. ［イベントを選択してください］で「Device Connected」を、［動作］で［何もしない］を選び、［OK］をクリックする

・ビデオカメラをパソコンに接続したときに、ソフトが自動で起動しなくなります。

❍ WIA対応ソフトを自動起動する場合には、指定したプログラムを選び、［OK］をクリックします。

❍ 起動したソフトにより、TWAINドライバーやTWAIN対応入力機器が開けない、という表示が出ることがあります。この場合は、起動するソフトで、［WIA-Canon Camera Storage］を選び、WIA-TWAINドライバーをご使用ください。

ビデオカメラをパソコンに接続する

ネットワークモードのあるビデオカメラはUSBケーブルまたはDVケーブルで、ネットワークモードのないビデオカメラはDVケーブルでパソコンと接続します。

USBケーブルでパソコンに接続する USB

- ❍ 接続する前に、DV Network Softwareをインストールしていることをご確認ください。
- ❍ ビデオカメラをパソコンと接続するときは、長時間使用するため、必ずビデオカメラの電源にコンパクトパワーアダプターを使用してください。
- ❍ ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで接続するときは、ビデオカメラのDV端子にはなにも接続しないでください。

USBケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する

・USB端子は、お使いのパソコンの使用説明書でご確認ください。

・接続のしかたについては、ビデオカメラの使用説明書をご覧ください。

DVケーブルでパソコンに接続する IEEE1394

- ❍ 接続する前に、DV Network Softwareをインストールしていることをご確認ください。
- ❍ ビデオカメラをパソコンと接続するときは、長時間使用するため、必ずビデオカメラの電源にコンパクトパワーアダプターを使用してください。
- ❍ ビデオカメラとパソコンをDVケーブルで接続するときは、ビデオカメラのUSB端子にはなにも接続しないでください。

DVケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する

・IEEE1394端子は、お使いのパソコンの使用説明書でご確認ください。

・接続のしかたについては、ビデオカメラの使用説明書をご覧ください。

DV Messengerの準備

DV Messengerを使う前に、ビデオカメラがパソコンに正しく接続されていることを確認します。

ビデオカメラとパソコンの接続を確認する

1. ビデオカメラにコンパクトパワーアダプターを接続する

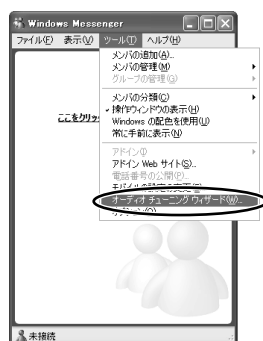
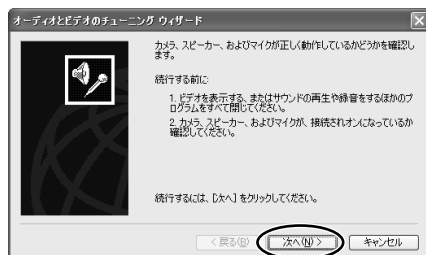
2. ネットワークモードにする
（ネットワークモードがないビデオカメラの場合：カメラモードにする）

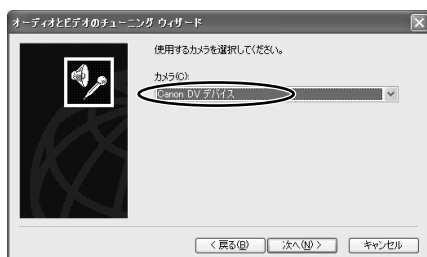
3. DVケーブルまたはUSBケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する
（ネットワークモードがないビデオカメラの場合：DVケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する）（📖20）

4. ［スタート］メニューから［全てのプログラム］▶［Windows Messenger］を選び、クリックする

・［Windows Messenger］画面が表示されます。

・［.NET Passportウィザード］画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

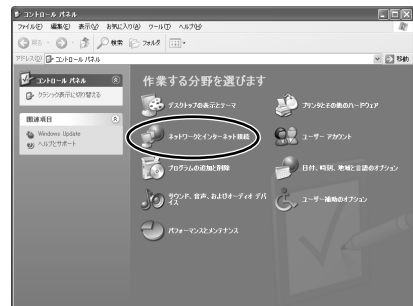
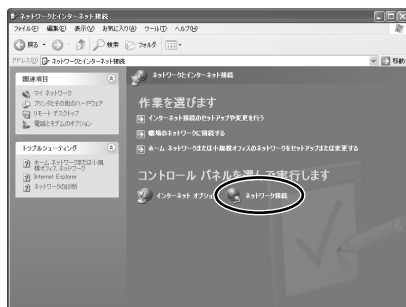
5. ［ツール］メニューから［オーディオ チューニング ウィザード］を選び、クリックする

6. ［次へ］をクリックする

7. お使いのビデオカメラが表示されていることを確認し、［キャンセル］をクリックする

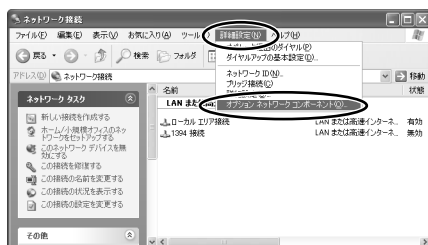
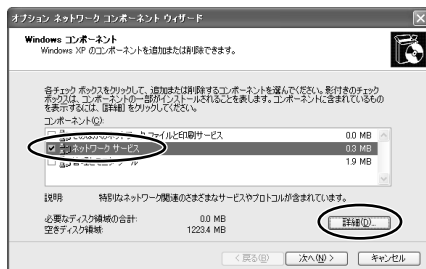
・キヤノン製ビデオカメラをお使いの場合、USBケーブルで接続しているときは［Canon USB Video］が、DVケーブルで接続しているときは［Canon DVデバイス］が表示されます。
・［Canon USB Video］または［Canon DVデバイス］が表示されないときは、 をクリックしてデバイスリストを表示します。その中に［Canon USB Video］または［Canon DVデバイス］が表示されていることを確認してください。
・［Canon USB Video］または［Canon DVデバイス］が表示されないときは、［Windows Messengerのオーディオに関するアップデート］を行うか、Windows XP Service Pack1をインストールしてください。詳しくは、Microsoft社にお問い合わせください。

UPnP(ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ)対応ルーターを設定する

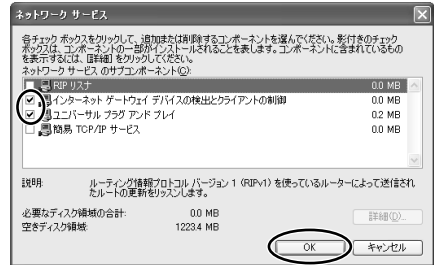
■ ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイをインストールする

UPnP（ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ）対応ルーターを使用してインターネットに接続している場合は、Windows XPで正しく使用できるように設定する必要があります。

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選び、クリックする

2. [ネットワークとインターネット接続]をクリックする

3. [ネットワーク接続]をクリックする

4. [詳細設定]メニューから、「オプション ネットワークコンポーネント」を選ぶ

・[オプション ネットワークコンポーネント ウィザード] が起動します。

5. [ネットワークサービス]をクリックして反転表示させた状態で[詳細]をクリックする

6. [ユニバーサル プラグ アンド プレイ]が□になっているときは、クリックしてチェックマーク✓を付けて、[OK]をクリックします。

・Windows XP Service Pack1をインストールしている場合は、[インターネット ゲートウェイ デバイスの検出とクライアントの制御]と[ユニバーサル プラグ アンド プレイ]が□になっているときは、クリックしてチェックマーク✓を付けて、[OK]をクリックします。

7. [オプション ネットワークコンポーネント ウィザード]画面の[次へ]をクリックする

・インストールが始まります。

8. インストールが終了したら、パソコンを再起動する

・再起動後、1〜3の操作をくり返し、ネットワーク接続の画面に、「インターネット ゲートウェイ デバイス」としてご使用のUPnP対応ルーターが表示されていることを確認してください。表示されていない場合、ご使用のルーターはUPnP対応ルーターとして正しく認識されていないため、DV Messengerは使用できません。その場合は、ファイアーウォールの設定をご確認ください（□26）。

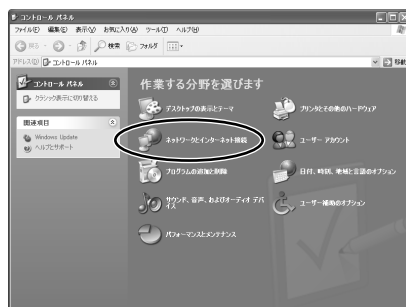
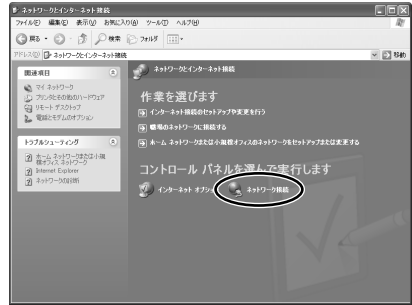
DV Messenger Version2

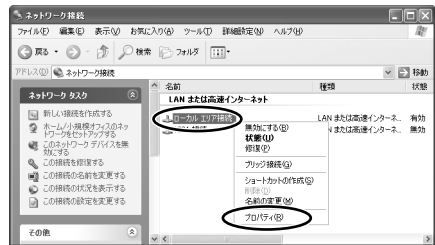
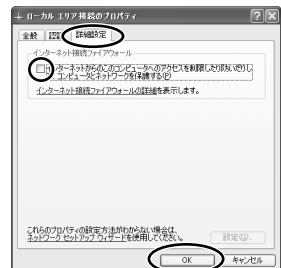
■ ファイアーウォール機能を解除する

UPnP（ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ）対応ルーターをDV Messengerで使用するためには、Windows XPのファイアーウォール機能を解除する必要があります。

ファイアーウォールとは
インターネット上の他のパソコンなどから自分のパソコンへの不正なアクセスを防ぐための重要なシステムです。この機能を解除すると、他のパソコンなどから自分のパソコン内のファイルにアクセスされたり、ハードディスク上にファイルを書き込まれたりする可能性があります。
DV Messengerを使う前に設定を解除し、DV Messengerを終了したあとに再度有効に設定することをおすすめします。

1. [スタート]メニューから[コントロール パネル]を選び、クリックする

2. [ネットワークとインターネット接続]をクリックする

3. [ネットワーク接続]をクリックする

4. [ローカルエリア接続]を選び、右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選ぶ

5. [詳細設定]タブをクリックし、[インターネット接続ファイアウォール]の☑（チェックマーク）をクリックしてチェックをはずし、[OK] をクリックする

6. パソコンを再起動する

・再起動後、1～3の操作をくり返し、ネットワーク接続の画面に、[インターネット ゲートウェイ デバイス]としてご使用のUPnP対応ルーターが表示されていることを確認してください。表示されていない場合、ご使用のルーターはUPnP対応ルーターとして正しく認識されていないため、DV Messengerは使用できません。

・再起動後、ネットワーク接続の画面に、[インターネット ゲートウェイ デバイス]としてご使用のUPnP対応ルーターが表示されていない場合、インターネットセキュリティソフトや、ウィルス対策ソフトファイアーウォール機能が動作している可能性があります。その場合には、ソフトのファイアーウォール機能の設定を無効にしてください。設定方法については、ソフトウェアメーカーまたはご使用のパソコンメーカーにお問い合わせください。

DV Messengerを終了後、ファイアーウォールを再度有効に設定するときには、1～4の操作をくり返し、5の操作でチェックマーク☑を付けてください。

テレビ電話をする

DV Messengerを起動する

- ❍ Windows Messengerにサインインしている状態では、DV Messengerは起動できません。その場合は、Windows Messengerをサインアウトした後にDV Messengerを起動してください。
- ❍ DV Messengerを起動している間に、Windows Messengerのアップデートは行わないでください。
- ❍ DV Messengerを起動している間は、ビデオカメラとパソコンを接続しているケーブルは抜かないでください。
- ❍ DV Messengerを起動している間は、エクスプローラーなどでビデオカメラのメモリーカードへの操作をしないでください。
- ❍ パソコンには2台以上のデジタルビデオカメラを、接続しないでください。
- ❍ DV Messenger Version2は機能が追加されたため、DV Messenger Version1とは互換性がありません。そのため、通信相手がDV Messenger Version1をお使いの場合には、通信できません。無償ダウンロードサービスを利用して、DV Messenger Version2にバージョンアップするよう、通信相手に紹介してください。
- ❍ ウィルス対策ソフトがインストールされている場合、そのソフト独自のファイアーウォール機能が動作することがあります。その場合には、ソフトのファイアーウォール機能の設定を無効にしてください。詳しくはソフトの使用説明書をご覧ください。
- ❍ インターネットへの接続にUPnP対応ルーターを使用している場合、WindowsXPのファイアーウォール機能が有効になっていると正しくルーターを検出できません。Windows XPのファイアーウォール機能も解除してください（📖26）。
  また、UPnP（ユニバーサル・プラグ・アンド・プレイ）対応ルーターをご使用の際は、WindowsにUPnPの機能をインストールしておく必要があります（📖23）。

1. ビデオカメラをネットワークモードにする
（ネットワークモードがないビデオカメラの場合：カメラモードにする）

2. USBケーブルまたはDVケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する（📖20）

3. インターネットへ接続する

4. インターネットへの接続が完了したら、デスクトップ上にある［DV Messenger］アイコンをダブルクリック、または［スタート］メニューから［DV Messenger］を選ぶ

・［インターネット共有構成］の画面が表示された場合には、［はい］をクリックしてください。

インターネット共有構成

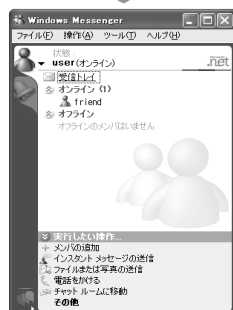
C:¥Program Files¥Canon¥DV Messenger¥DV Messenger.exe は、このコンピュータのインターネット接続の保護設定を変更または表示しようとしています。プログラムが開いている間 C:¥Program Files¥Canon¥DV Messenger¥DV Messenger.exe にアクセス許可を与えるには、[はい] をクリックしてください。

はい(Y)　いいえ(N)　詳細(M)...

今後このダイアログを表示しない(D)

・DV Messengerが起動し、DVMパネル（DV Messengerの操作画面）とWindows Messengerのサインイン画面が表示されます。

5. Windows Messengerのサインイン画面で、［ここをクリックするとサインインします］をクリックする

DVMパネル

Windows Messenger

DV Messengerを使用するためには、自分と通信相手の両方がサインインしていることが必要です。

・**通信相手がすでにサインインを完了している場合**

サインインが完了すると、自分が通信相手にサインインしたことを通知するメッセージが自動的に送信され、相手のパソコン画面に通知画面が表示されます。

相手のパソコン　通知画面

・**通信相手がサインインを完了していない場合**

サインインした後に、通信相手のサインインが完了すると、相手が自分にサインインしたことを通知するメッセージが自動的に送信され、自分のパソコン画面に通知画面が表示されます。

自分のパソコン　通知画面

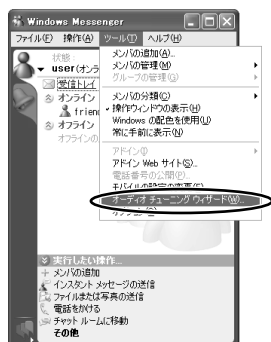
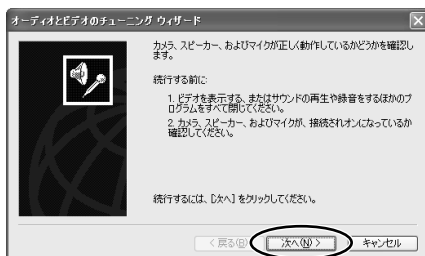
使用するカメラを設定する

サインインが完了したら、使用するカメラを設定し、スピーカーやマイクの音量を調整します。

❍ パソコンにスピーカーまたはヘッドホンなどを接続しておきます。
❍ マイクはビデオカメラのマイクを使用します。

1. ビデオカメラをネットワークモードにする（ネットワークモードがないビデオカメラの場合：カメラモードまたは再生（VTR）モードにする）

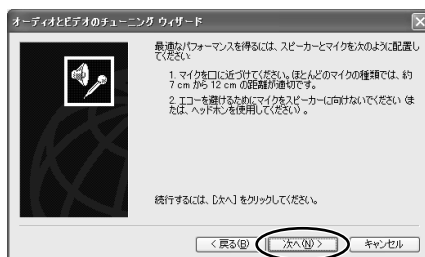
・再生（VTR）モードに設定する場合は、映像と音声が記録されたテープを入れて再生します。

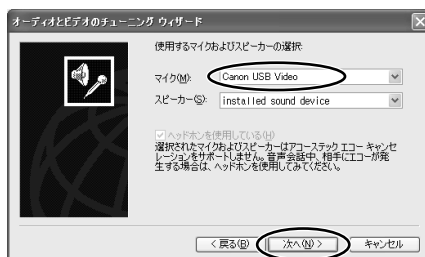
2. Windows Messengerの［ツール］メニューから［オーディオ チューニングウィザード］を選ぶ

3. ［次へ］をクリックする

4. お使いのビデオカメラを選び、［次へ］をクリックする

・USBケーブルで接続している場合は［Canon USB Video］を、DVケーブルで接続している場合は［Canon DVデバイス］を選びます。

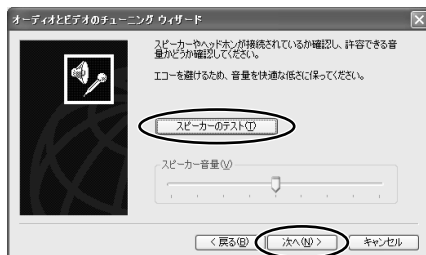
5. ビデオカメラの映像が表示されたら、[次へ] をクリックする

・ネットワークモードまたはカメラモードの場合はビデオカメラが撮影している映像が、再生(VTR)モードの場合は再生中の映像が表示されます。
・USBケーブルで接続していると、画面が変わるまで約10秒ほどかかることがあります。

6. スピーカーとマイクの設定についての説明を読んで、[次へ] をクリックする

7. 使用するマイクを選び、[次へ] をクリックする

・USBケーブルで接続している場合は [Canon USB Video] を、DVケーブルで接続している場合は [Canon DVデバイス] を選びます。
・[スピーカー] にはお使いのパソコンで使用している音声出力用の機器が表示されるので、そのままの設定で進めてください。

8. [スピーカーのテスト］をクリックして音量を調整し、調整が終了したら[次へ］をクリックする

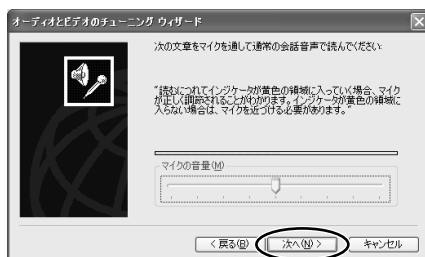
・[スピーカーのテスト］をクリックすると、スピーカーからテスト用の音が聞こえてきます。

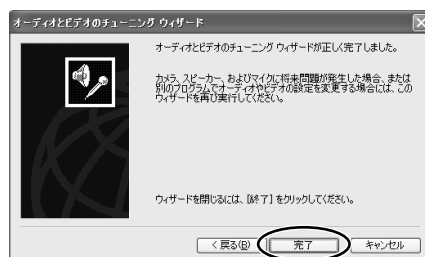
・音量は、スピーカー音量つまみをマウスで動かして調整します。

9. マイクの音量が正しく表示されることを確認し、確認が完了したら［次へ］をクリックする

・ビデオカメラがネットワークモードまたはカメラモードの場合：ビデオカメラのマイクに向かって通常の会話を行い、音量表示が動作することを確認します。

・カメラモードで使用する場合、カードカメラモードでは音量表示が動作しない場合があるため、カメラモード（テープ）でお使いください。

・ビデオカメラが再生（VTR）モードの場合：テープを再生して、音量表示がテープの音声に合わせて動作することを確認します。

・ビデオカメラからUSB接続またはIEEE1394接続で入力される音声は、音量つまみを動かしても音量調整はできません。

10. [完了］をクリックする

・スピーカーやマイクの音量調整が完了しました。

テレビ電話を始める

通信相手とテレビ電話を始めるためには、自分から相手を招待する方法と、相手から招待される方法があります。

- ❍ DV Messengerを起動してから、インターネットに接続すると、通信相手との接続に失敗することがあります。DV Messengerで通信するときは、必ずインターネットに接続してからDV Messengerを起動してください。
- ❍ 次の方法で、通信を開始したときに、エラーメッセージが表示されて正しく通信できないことがあります。その場合は、再度［オーディオとビデオのチューニングウィザード］で設定を確認してください。

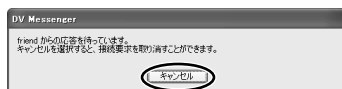
■ 相手を招待してテレビ電話を始める

1. DVMパネルの 接続 をクリックする

2. 通信したい相手を選び、［選択］をクリックする

- ・［メンバ選択］通信相手を選ぶ画面には、登録済みメンバーのうち、すでにサインインしているメンバーだけが表示されます。テレビ電話ができるのは、DV Messenger Version2をインストールしていて、パソコンにビデオカメラを接続しているメンバーのみです。
- ・通信相手を選ぶと、Windows Messengerの［会話］画面が表示されます。

- ・通信相手のDV Messengerにメッセージが送信され、相手からの応答を待つ画面が表示されます。［キャンセル］をクリックすると、通信相手へのDV Messengerの接続要求は取り消されます。

DV Messenger
friend からの応答を待っています。
キャンセルを選択すると、接続要求を取り消すことができます。
キャンセル

- ・通信相手が接続を許可すると、上記画面が消えます。通信相手のDV Messengerとの接続が行われ、テレビ電話が始まり、DVMパネルで通信相手のビデオカメラを操作できる状態になります。

相手のビデオカメラが撮影している映像

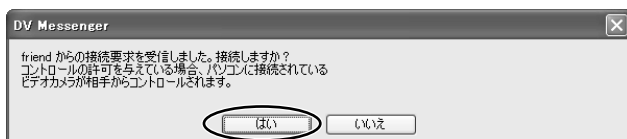
自分のビデオカメラが撮影している映像

・[選択]をクリックして約30秒以上通信相手からの応答がない場合、接続処理を中止して、DV MessengerをVersion1からVersion2へのバージョンアップをすすめるインスタントメッセージが自動的に送信されます。

■ 相手からの招待を受けてテレビ電話を始める

通信相手がDVMパネルの 接続 をクリックして、自分を通信相手として選んだ場合、通信相手からメッセージが送信されます。

接続を許可するかどうかをたずねる画面が表示されたら、［はい］をクリックする

・通信相手のDV Messengerとの接続が行われ、テレビ電話が始まり、DVMパネルで通信相手のビデオカメラを操作できる状態になります。

DV Messengerを終了する

通信相手との通信を終了する

1. DVMパネルの をクリックする

・切断の確認画面が表示されます。

2. ［はい］をクリックする

・通信相手との接続が切断されます。他の相手と通信したい場合は、Windows Messengerの会話を終了した後、 をクリックして、通信相手を選んでください。

DV Messengerを終了する

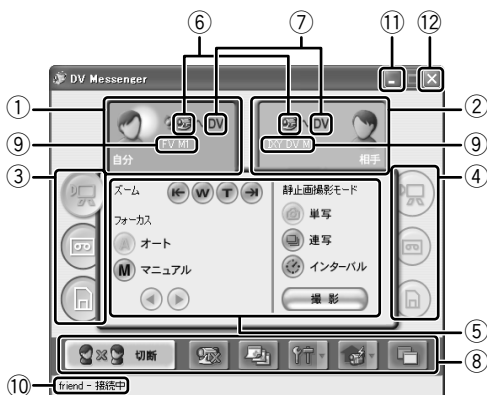
タスクバーのDVMアイコンをクリックして、表示されるメニューから［DV Messengerの終了］を選ぶ

・DV Messengerを終了します。

画面の表示について

DVM（DV Messenger）パネル

［メインパネル］

DV Messengerの操作画面です。この画面で、自分のパソコンおよび相手のパソコンに接続しているビデオカメラを操作します。

①	［自分］	ご自身でお使いのパソコンに接続したビデオカメラを操作するための操作パネルを表示します。
②	［相手］	通信相手のパソコンに接続されたビデオカメラを操作するための操作パネルを表示します。
③	自分のモード表示	ご自身でお使いのパソコンに接続したビデオカメラの設定がハイライト表示されます。上から順番に［カメラモード］［テープ再生モード］［カードモード］を意味します。 お使いのビデオカメラにネットワークモードがある場合は、［カメラ］［テープ再生］［カード］タブをクリックすることで、ビデオカメラのモードを切り換えられます。（📖41） ①をクリックして［自分］の操作パネルを表示したあとにモードが切り換えられます。 ネットワークモードがないビデオカメラの場合は、現在のビデオカメラのモードが表示されます。

④	**相手のモード表示**	通信相手のパソコンに接続されたビデオカメラの設定がハイライト表示されます。上から順番に［カメラモード］［テープ再生モード］［カードモード］を意味します。通信相手のビデオカメラにネットワークモードがある場合は、［カメラ］［テープ再生］［カード］タブをクリックすることで、ビデオカメラのモードを切り換えられます。（□43） ②をクリックして［相手］の操作パネルを表示したあとに切り換えられます。 ネットワークモードがないビデオカメラ場合は、現在のビデオカメラのモードが表示されます。
⑤	**操作パネル**	ビデオカメラの操作を行います。
⑥	**操作状態表示アイコン**	接続しているビデオカメラの種類と操作許可／禁止状態がアイコンで表示されます。 ：ネットワークモードがあるビデオカメラで、操作を許可している状態です。 ：ネットワークモードがあるビデオカメラで、操作を禁止している状態です。 ：ネットワークモードがないビデオカメラで、操作を許可している状態です。 ：ネットワークモードがないビデオカメラで、操作を禁止している状態です。
⑦	**接続状態表示**	接続しているビデオカメラのケーブルの種類が表示されます。DV（IEEE1394）ケーブル接続の場合は［**DV**］に、USBケーブル接続の場合は［］になります。
⑧	**機能設定**	通信相手との接続や、各種設定などを行います。（□40）
⑨	**ビデオカメラ情報**	自分自身のパソコンと相手のパソコンに接続されているビデオカメラの機種名が表示されます。（2001年以前に発売されたキヤノンのビデオカメラは［キヤノン ビデオカメラ］と表示されます）
⑩	**接続相手表示**	DV Messengerで通信している相手のメンバー名が表示されます。
⑪		DVMパネルを最小化します。最小化した後に再度DVMパネルを表示するには、①タスクバーからDV Messengerを選ぶ、②タスクトレイのDV Messengerアイコンをダブルクリックする、③タスクトレイのDV Messengerアイコンをクリックして、メニューを開き［DVMパネルを開く］、のいずれかを行います。
⑫		DVMパネルを表示しないようにします。再度DVMパネルを表示するには、タスクトレイのDV MessengerアイコンをダブルクリックかタスクトレイのDV Messengerアイコンをクリックして、メニューを開き［DVMパネルを開く］、のいずれかを行います。 ではDV Messengerは終了しません。（□37）

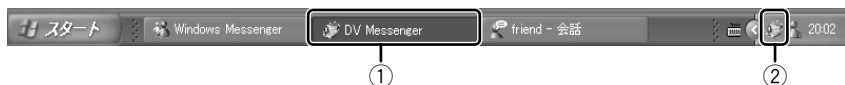
DV Messenger Version2

[機能設定]

DVMパネルでは、以下の機能を設定したり、操作できます。

①	接続・切断	通信相手との接続と切断を行います。接続していない状態では、 接続 が表示され、クリックするとメンバー選択画面が表示されます。(📖35) 接続している状態では、 切断 が表示され、クリックすると切断の確認画面が表示されます。(📖37)
②	コントロール許可の切り換え	通信相手が自分自身のビデオカメラを操作することを許可するか、禁止するかを切り換えます。現在の許可／禁止の状態は、自分の操作状態表示アイコンで確認できます。(📖39) 操作を禁止している状態では が表示され、クリックすると操作が許可されます。操作を許可している状態では が表示され、クリックすると操作が禁止されます。 DV Messengerを起動したときの設定は［許可］です。
③	Windows Messengerの背景切り換え	Windows Messengerの画面に表示されている背景の画像を変更します。(📖63)
④	各種設定	DV Messengerの設定を行います。(📖64)
⑤	リモート留守番カメラ	リモート留守番カメラの開始、停止、設定を行います。(📖60)
⑥	DVMパネルの表示順序	ほかの画面がDVMパネルに重なったときに、DVMパネルを常に手前に表示するかどうかを切り換えます。常に手前に表示するように設定すると、他の画面が重なっても、DVMパネルが画面の一番上に表示されます。 常に手前に表示するモードが解除されているときは が表示され、クリックすると常に手前に表示するモードになります。常に手前に表示するモードになっているときは が表示され、クリックすると常に手前に表示するモードが解除されます。

タスクバー

DV Messengerを起動しているとき、Windowsのタスクバーに［DV Messenger］タスクと［DV Messenger］アイコンが表示されます。

①	**DV Messenger タスク**	DVMパネルが表示されている場合または、最小化されている場合に表示されます。最小化されている場合、クリックすると再度DVMパネルが表示されます。
②	**DV Messenger アイコン**	このアイコンをクリックすると、メニュー項目が表示されます。（📖42） また、画面上にDVMパネルが表示されていない場合、このアイコンをダブルクリックすると、DVMパネルが再度表示されます。

DV Messengerアイコンのメニュー

タスクバーのDV Messengerアイコンをクリックすると、メニュー項目が表示されます。

①	**DV Messengerのバージョン情報**	起動中のDV Messengerのバージョン情報を表示します。
②	**DV Messengerのヘルプ**	DV Messengerのヘルプファイルを表示します。
③	**リモート留守番カメラの開始**	リモート留守番カメラを開始します。（🕮60）
④	**リモート留守番カメラの停止**	リモート留守番カメラを停止します。（🕮61）
⑤	**接続を開始する**	メンバー選択画面を表示し、DV Messengerでの通信を開始します。（🕮35）
⑥	**接続を切断する**	通信相手との接続を切断します。
⑦	**DVMパネルを開く**	DVMパネルをパソコン画面上に表示します。
⑧	**DV Messengerの終了**	DV Messengerを終了します。（🕮37）

ビデオカメラのモードを切り換える

ネットワークモードがあるビデオカメラの場合

ネットワークモードがあるビデオカメラを使用している場合、DVMパネルで、ビデオカメラのモードを切り換えられます。

1. ［自分］または［相手］のタブをクリックして、切り換えるビデオカメラの操作パネルを表示する

2. 、、のいずれかのタブをクリックして、モードを選択する

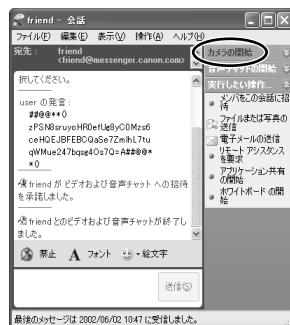
ネットワークモードがないビデオカメラの場合

ネットワークモードがないビデオカメラの場合、ビデオカメラのモードは、ビデオカメラの電源スイッチとテープ／カード切換スイッチを操作して手動で切り換えます。

ビデオカメラのモードを変更すると、「オーディオチューニングウィザード」の使用するカメラとマイクの設定が変更されることがあります。その場合には、「カメラの開始」をクリックする前に、再度「オーディオチューニングウィザード」でカメラとマイクの設定を行ってください。

1. Windows Messengerの［会話］画面の［カメラの中止］をクリックする

2. ビデオカメラのモードを変える

3. ビデオカメラの画面にビデオカメラで撮影している映像やテープカウンターなどの情報が表示されたら、［カメラの開始］をクリックする

・相手の［会話］画面に［承諾］または［拒否］をたずねる表示が出ます。相手が［承諾］をクリックすると、テレビ電話が再開されます。

DV Messengerでビデオカメラを操作する

DV Messengerを使って、パソコンに接続したビデオカメラを操作できます。通信相手のビデオカメラを操作するときは、通信相手のDVMパネルので、操作を許可してもらってください。（40）
使用できるビデオカメラの組み合わせとDV Messengerで操作できる製品は、次のとおりです。

自　分	通信相手	
キヤノン製デジタルビデオカメラ	キヤノン製デジタルビデオカメラ	自分のデジタルビデオカメラと相手のデジタルビデオカメラを操作できます
	キヤノン製デジタルビデオカメラ以外のビデオカメラ	自分のデジタルビデオカメラのみ操作できます
キヤノン製デジタルビデオカメラ以外のビデオカメラ	キヤノン製デジタルビデオカメラ	相手のデジタルビデオカメラのみ操作できます
	キヤノン製デジタルビデオカメラ以外のビデオカメラ	操作できません。

❍ 動画と音声を使用した通信中は、通信回線の状態によって映像と音声が途切れたり、通話に遅れが生じることがあります。
❍ ビデオカメラのメモリーカードを使用するソフトウェア（スキャナとカメラ ウィザードなど）が起動している場合、ビデオカメラを操作できなくなる場合があります。その場合は、メモリーカードを使用するソフトウェアを終了してください。

ネットワークモードがあるビデオカメラで、VTR操作用パネルが表示されている場合やネットワークモードがないビデオカメラをカメラモード以外にした場合、話している声やカメラの映像は相手に送信できません。この場合、［会話］画面左側のインスタントメッセージを使用して会話を行ってください。

[カメラ]の場合

DVMパネルを使って、[会話］画面を見ながら、ビデオカメラのズームとピントを調整できます。

1. ビデオカメラをネットワークモードにする
（ネットワークモードがないビデオカメラの場合：カメラモードにする）

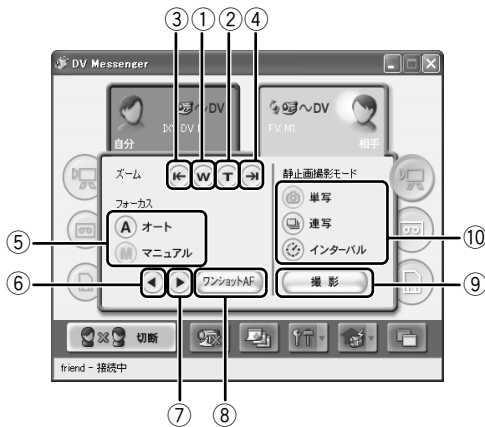
2. 自分自身のビデオカメラを操作するとき

DVMパネルで［自分］をクリックし、 タブをクリックして、カメラ操作用のパネルを表示する
（ネットワークモードがないビデオカメラの場合： DVMパネルで［自分］をクリックして、カメラ操作用パネルを表示する）

通信相手のビデオカメラを操作するとき

DVMパネルで［相手］をクリックし、 タブをクリックして、カメラ操作用のパネルを表示する
（ネットワークモードがないビデオカメラの場合： DVMパネルで［相手］をクリックして、カメラ操作用パネルを表示する）

・通信相手のビデオカメラがネットワークモードがないビデオカメラの場合、カメラモードに設定されていないと、相手のカメラを操作できません。

［カメラ］の操作について

①	ズームアウトする (Wide（ワイド）：広角)	押し続けている間、被写体が小さくなります。
②	ズームインする (Tele photo（テレフォト）：望遠)	押し続けている間、被写体が大きくなります。

③	**テレ端**	クリックすると、被写体が一番小さくなるまでズームします。
④	**ワイド端**	クリックすると、被写体が一番大きくなるまでズームします。
⑤	**フォーカスモード切換**	自動ピント合わせ（オートフォーカス）と手動ピント合わせ（マニュアルフォーカス）を切り換えます。 ネットワークモードがないビデオカメラで、撮影モードが□（全自動モード）になっているとマニュアルフォーカスは設定できません。）
⑥	**近くにピントを合わせる**	ピントを近くのものに合わせます。（オートフォーカス時には操作できません。）
⑦	**遠くにピントを合わせる**	ピントを遠くのものに合わせます。（オートフォーカス時には操作できません。）
⑧	**ワンショットAF**	リモート留守番カメラモードでビデオカメラがマニュアルフォーカスに設定されているときにクリックすると約10秒間オートフォーカスになり自動ピント合わせを行います。通信相手のビデオカメラを操作するパネルにのみ表示され、リモート留守番カメラ以外のモードでは使用できません。
⑨	**撮影**	ビデオカメラの映像を静止画としてパソコンに記録します。（ネットワークモードがあるビデオカメラのみ操作できます。）
⑩	**静止画撮影モード切換**	静止画撮影のモード（単写／連写／インターバル）を切り換えます。

[テープ再生]の場合

自分自身のパソコンに接続したビデオカメラに入れたテープを再生して、記録されている映像と音声を通信相手に送信できます。また、DVMパネルを使って、［会話］画面を見ながら、テープ走行を操作できます。

❍ 2倍／3倍録画モード（E SP／E LP）で記録されたテープの映像と音声は、送信できません。2倍／3倍録画モードで記録したテープを再生した場合、［会話］画面の映像が乱れることがあります。

❍ 通信相手のビデオカメラが早送り、巻き戻し、停止を行うことでテープの再生が中断された場合、直前に再生された画面が表示され続けます。テープの再生を再開すると、再生画面が表示されます。

❍ ご使用のビデオカメラの機種によっては、一時停止およびスピードコントロールを使用して再生すると、Windows Messengerから「ブーン」、「シャカシャカ」といったような音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

❍ ネットワークモードがないビデオカメラでは、ビデオカメラ本体のボタンやリモコンを使用してテープの操作を行った場合、操作によってはパネル上の表示がしばらく本体の動作と異なる表示となる場合があります。

1. ビデオカメラをネットワークモードにする
（ネットワークモードがないビデオカメラの場合：ビデオカメラを再生（VTR）モードにする）

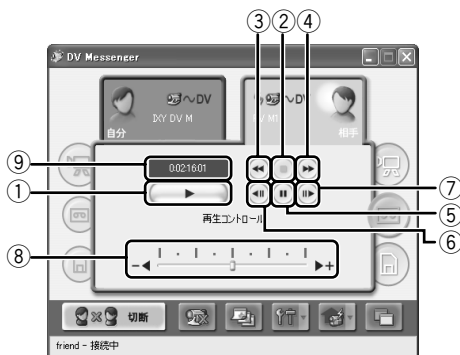
2. 自分自身のビデオカメラのテープを操作するとき

DVMパネルで［自分］をクリックし、タブをクリックして、テープ再生操作用のパネルを表示する
（ネットワークモードがないビデオカメラの場合：DVMパネルで［自分］をクリックして、テープ再生操作用パネルを表示する）

通信相手のビデオカメラのテープを操作するとき

DVMパネルで［相手］をクリックし、タブをクリックして、テープ再生操作用のパネルを表示する
（通信相手のビデオカメラにネットワークモードがない場合：DVMパネルで［相手］をクリックして、テープ再生操作用パネルを表示する）

・相手のビデオカメラにネットワークモードがない場合、再生（VTR）モードに設定されていないと、相手のビデオカメラのテープを操作することはできません。

［テープ再生］操作について

①	再生	テープを再生します。
②	停止	テープを停止します。
③	巻き戻し	テープを巻き戻します。
④	早送り	テープを早送りします。
⑤	一時停止	テープの再生を一時停止します。
⑥	逆方向コマ送り	テープを1コマ逆方向に進めます。テープ再生が一時停止状態のときのみ使用可能です。

⑦	**正方向コマ送り**	テープを1コマ正方向（ふつうの方向）に進めます。テープ再生が一時停止状態のときのみ使用可能です。
⑧	**再生コントロール**	テープの再生モードを設定します（特殊再生）。マウスでつまみを動かして設定します（音声は再生されません）。特殊再生中は、つまみの上に再生モードが表示されます。つまみの位置と再生モードは、次のとおりです。 a. 逆方向高速再生 b. 逆方向2倍速再生 c. 逆方向再生 d. 逆方向スロー再生 e. 一時停止 f. 正方向スロー再生 g. 正方向再生 h. 正方向2倍速再生 i. 正方向高速再生 再生コントロール 一時停止 a b c d e f g h i
⑨	**テープ情報**	ビデオカメラに入っているテープのタイムコードが表示されます。

DV Messenger Version2

[カード]の場合（画像転送）

通信相手のパソコンに接続しているビデオカメラにファイル転送機能がある場合、DV Messengerを通してビデオカメラのメモリーカードに記録されている画像ファイルを転送できます。

- ❍ 画像転送は、ネットワークモードのあるビデオカメラまたはファイル転送機能を搭載したビデオカメラでのみ操作できます。画像転送する場合、DVケーブルで接続するときは「DVネットワークソフトウェア」に収められているAV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーをインストールしてください（📖17）。
- ❍ メモリーカードに大量の画像が記録されている場合、DV Messengerの起動やメモリーカードに記録されている画像の表示に時間がかかることがあります。
- ❍ インターネットの通信状況やファイルの種類、サイズにより、画像転送できない場合があります。
- ❍ 自分自身のビデオカメラから相手のパソコンに画像転送が行われている間は、「自分」のDVMパネル上の画面に転送中を示すバーが表示されます。ネットワークモードがないビデオカメラのモードをカード再生モードから他のモードに切り換えるときは、画像転送が行われていないことを確認してから切り換えてください。
- ❍ ［スキャナとカメラ ウィザード］が起動している場合、画像転送機能が使用できません。ビデオカメラをパソコンに接続したときに［スキャナとカメラ ウィザード］が自動的に起動する設定になっている場合は、起動しないように設定を変更することをおすすめします（📖18）。

ビデオカメラによっては、DVMパネル上でカード再生にしたときに、カード動作ランプが点滅しつづけることがあります。

転送許可設定を行う

自分のパソコンに接続されたビデオカメラに入っているメモリーカードの内容を確認し、通信相手に転送してもよい画像を選択します。

1. ビデオカメラをネットワークモードにする
（ネットワークモードがないビデオカメラの場合：カード再生モードにする）

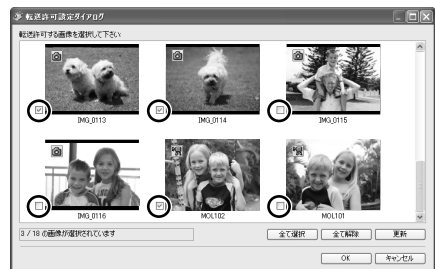
2. DVMパネルで[自分]をクリックし、タブをクリックする（ネットワークモードのないビデオカメラの場合：DVMパネルで[自分]をクリックする）

・ビデオカメラに入っているメモリーカードに記録されている画像ファイルの合計数と、通信相手に転送許可を設定しているファイルの数が表示されます。
・メモリーカードがビデオカメラに入っていない場合は、転送許可設定できません。
・メモリーカードに何も記録されていない場合は、転送許可設定できません。

3. ［転送許可設定］をクリックする

・メモリーカードに記録されている画像ファイルの縮小画面（サムネイル）一覧が表示されます。

4. 表示される縮小画面（サムネイル）一覧から、通信相手に転送してもいい画像ファイルを選び、□に✓をつける

・［全て選択］をクリックすると、全ての画像ファイルの□が☑になります。

・［全て解除］をクリックすると、全ての画像ファイルの☑が□になります。
・縮小画像（サムネイル）の左上に画像ファイルの種類を示すアイコンが表示されます。 は静止画ファイル、 は動画ファイルです。
・［更新］をクリックすると、縮小画面（サムネイル）一覧の表示が最新の情報に更新されます。
・ファイルサイズが20MBを超える画像は表示されません。
・キヤノン製ビデオカメラで撮影した以外の画像ファイルがメモリーカードに記録されている場合、縮小画面（サムネイル）が表示されないことがあります。
・縮小画面（サムネイル）の上にマウスポインタを動かし、しばらく静止させると画像情報が表示されます。

5. 転送を許可するファイルの選択が終了したら、［OK］をクリックする

・転送許可設定が終了し、カードモードのパネルの転送許可ファイル数が更新されます。

画像転送を行う

相手のパソコンに接続されたビデオカメラに入っているメモリーカードの内容を確認し、ファイルを選んで自分のパソコンに取り込めます。

❍ 相手のビデオカメラにメモリーカードが入っていない場合は、画像転送はできません。
❍ 通信相手のビデオカメラに入っているメモリーカードに画像ファイルが記録されていない場合、画像転送できません。
❍ 通信相手がどの画像ファイルにも転送許可の設定を行っていない場合、画像転送できません。
❍ 通信相手が転送許可設定を行っている間は、画像転送できません。

1. 通信相手のビデオカメラをネットワークモードにしてもらう（ネットワークモードがないビデオカメラの場合：相手のビデオカメラを再生（カード）モードにしてもらう）

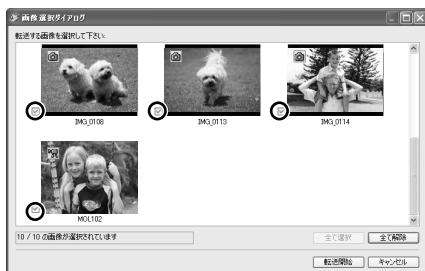
2. DVMパネルで［相手］をクリックし、タブをクリックする（ネットワークモードのないビデオカメラの場合：DVMパネルで[相手]をクリックする）

・カードモードのパネルを表示したときは、相手のビデオカメラに入っているメモリーカードに記録されている画像ファイルの総数と、通信相手が転送許可を設定しているファイルの数が表示されます。

3. ［画像選択］をクリックする

・相手のビデオカメラに入っているメモリーカードに記録されている画像ファイルが縮小画面（サムネイル）で表示されます。

・相手が転送許可を設定している画像ファイルのみ、縮小画面（サムネイル）が表示されます。

4. 表示される縮小画面（サムネイル）一覧から、転送したい画像ファイルを選び、□に✓を付ける

・［全て選択］をクリックすると、全ての画像ファイルの□が☑になります。

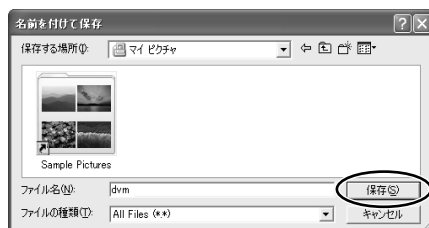
・［全て解除］をクリックすると、全ての画像ファイルの☑が□になります。

・相手のメモリーカード内に相手のビデオカメラで撮影した画像ファイル以外のファイルが記録されている場合、縮小画面（サムネイル）が表示されないことがあります。

・縮小画面（サムネイル）の上にマウスポインタを動かし、しばらく静止させると画像情報が表示されます。

5. 転送する画像ファイルを選んだら、［転送開始］をクリックする

6. 保存するフォルダーとファイル名を入力して、［保存］をクリックする

・選んだ画像ファイルが自分のパソコンに転送されます。
・転送された画像ファイルは、指定されたフォルダーに保存されます。ファイル名には、［dvm0001.jpg］のように、指定した名前に番号がつきます。

・DVMパネルには、転送の進行状況が表示されます。途中で転送を中止する場合は［転送中止］をクリックしてください。画像転送が始まると通信相手のDVMパネルにも転送の進行状況が表示されます。
・画像転送が終了すると、DVMパネルは最初の状態に戻ります。

撮影機能について

ビデオカメラにネットワークモードがある場合、ビデオカメラで撮影中の映像を静止画としてパソコンに記録できます。

❍ 撮影機能は、ネットワークモードのあるビデオカメラでのみ使用できます。
❍ 撮影している間は、DVMパネルの 、 のタブをクリックしてもパネルの表示は切り換りません。また、ビデオカメラの操作もできません。操作を行うときは、撮影が終わるのを待つか、［撮影中止］をクリックして撮影を中止してください。中止すると、撮影中の画像は通信相手のビデオカメラからパソコンに転送されません。
❍ USBケーブルでビデオカメラを接続している場合、撮影している間はビデオカメラからパソコンへのビデオと音声の出力が中断します。撮影が終るともとに戻ります。

インターバル撮影の場合、撮影間隔と撮影枚数の組み合わせが24時間を超える場合、撮影開始から24時間でビデオカメラの電源が自動的に切れ、撮影は中断します。

撮影設定をする

をクリックして表示されるメニューから[撮影設定]を選ぶ

[撮影設定]

①	**保存設定**	撮影した画像を保存するフォルダーを設定します。保存するフォルダーを変更するときは、[変更]をクリックして表示される画面でフォルダーを選んで[OK]をクリックします。
②	**保存ファイル名**	撮影した画像を保存するときに付けるファイル名が表示されます。［ファイル名］はファイル名の先頭部分につけられる共通の文字列です。実際にファイル名として使用される名前が例として表示されます。
③	**撮影画像サイズ**	撮影する画像のサイズを指定します。640×480ピクセル（VGA）サイズと、ビデオカメラが対応している最大サイズの2種類が選べます。
④	**シャッター音**	［撮影］をクリックしたときに再生するシャッター音を設定できます。新しい音を登録する場合は［追加］をクリックして表示されるファイル選択画面で音声ファイルを選択して［OK］をクリックします。追加できるのはWAVE形式のファイルのみで、最大10の音声を登録できます。削除する場合は、削除したい音声を選択して［削除］をクリックします。[▶］をクリックすると、選択している音声をテスト再生することができます。
⑤	**連写撮影設定**	連写モード時に撮する枚数を選択します。2～10枚の連続撮影が設定できます。
⑥	**インターバル撮影設定**	インターバル撮影モード時に撮影する枚数と、撮影間隔を指定します。 撮影枚数は、2，5，10，15，20，25，30，35，40，45，50，無制限のいずれかから選べます。 撮影間隔は、 または をクリックして変更するか、入力エリアをマウスでクリックしてキーボードで直接数字を入力して設定します。間隔は分単位で、1～120分まで設定できます。

静止画撮影モードを変更する

静止画撮影のモードは、アイコンをクリックして切り換えます。

撮影機能には3種類のモードがあります。

静止画撮影	
単写	［撮影］をクリックすると撮影し、パソコンに静止画を1枚記録します。
連写	［撮影］をクリックすると連続して撮影し、設定された枚数の静止画を記録します。枚数設定は、［撮影設定］画面から行います。
インターバル	［撮影］をクリックすると撮影を開始し、パソコンに一定間隔で静止画を記録します。撮影間隔と撮影枚数の設定は、［撮影設定］画面から行います。

自分自身のビデオカメラの映像を記録する

1. ［自分］のカメラ操作パネルを表示し、タブをクリックして、操作するパネルを表示する

2. ［撮影］をクリックする

・撮影のモードに応じて、記録中は画面が変わります。記録が終了するか撮影を中止すると元の画面に戻ります。

単写または連写の場合、記録が終了すると記録された画像を確認する画面（DVMビューワー）が表示されます。

表示中の画像ファイル名

総枚数と表示中の画像番号が表示されます

ビューワーを閉じます

連写のときに、表示中の画像の一つ後に撮影した画像を表示します

連写のときに、表示中の画像の一つ前に撮影した画像を表示します

通信相手のビデオカメラの映像を記録する

1. ［相手］のカメラ操作パネルを表示し、 タブをクリックして、操作パネルを表示する

2. ［撮影］をクリックする

・撮影のモードに応じて、画面が変わり、撮影の進行状況が表示されます。撮影している間は、通信相手のDVMパネルにも撮影の進行状況が表示されます。

単写または連写の場合、記録が終了すると記録された画像を確認する画面（DVMビューワー）が表示されます。

リモート留守番カメラ機能を使用する

DV Messengerとお使いのビデオカメラを使用して、外出先からビデオカメラの映像を確認できます。

- ❍ リモート留守番カメラ機能はネットワークモードがあるビデオカメラのみ使用できます。
- ❍ リモート留守番カメラ機能を使用する場合は、自宅用と外出先用の2つのWindows Messengerのアカウント（メールアドレス）が必要になります。
- ❍ 自宅のパソコンのWindows Messengerのメンバーリストに外出先用のアカウントを、外出先のパソコンのWindows Messengerのメンバーリストに自宅用のアカウントを登録しておく必要があります。
- ❍ 外出時には、自宅用のパソコンとビデオカメラの電源を入れておく必要があります。

接続を許可するメンバーを設定する

リモート留守番カメラ機能を使用する際に、外出先からの接続を許可するメンバーを登録します。

1. ネットワークモードに設定したビデオカメラをパソコンに接続し、DV Messengerを起動して、自宅用のアカウントでWindows Messengerにサインインする

・Windows Messengerにサインインしていない場合、リモート留守番カメラの設定はできません。

2. をクリックして表示されるメニューから、［リモート留守番カメラ設定］を選ぶ

3. リモート留守番カメラへの接続を許可するメンバーを選び［許可］をクリックする

・Windows Messengerの通信相手として登録されているメンバーが［リモート留守番カメラ設定］画面に表示されます。最初は、すべてのメンバーが［禁止するメンバ］に登録されています。

・選択したメンバーが、［許可するメンバ］のリストに移動します。

・許可を取り消す場合は、［許可するメンバ］から許可を取り消すメンバーを選んで、［禁止］をクリックしてください。

4. 許可するメンバーの選択が終了したら、［OK］をクリックする

・登録が完了します。

・設定したメンバー情報は、DV Messengerを終了しても保存されます。

リモート留守番カメラを開始する

自宅のパソコンのDV Messengerを外出先から接続できるように待機状態に設定します。

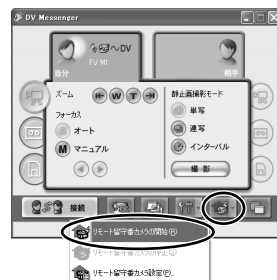
1. ネットワークモードに設定したビデオカメラをパソコンに接続し、DV Messengerを起動して、自宅用のアカウントでWindows Messengerにサインインする

2. をクリックして表示されるメニューから、［リモート留守番カメラの開始］を選ぶ

・リモート留守番カメラに接続を許可するメンバーが登録されていない場合、リモート留守番カメラを開始できません。

・DV Messengerで会話している間は、リモート留守番カメラの開始はできません。

DV Messengerの接続を切断してから開始してください。

・Windows Messengerのオーディオチューニングウィザードが起動します。必ずビデオカメラの映像と音声が正しく設定されていることを確認してください。（📖31）

・リモート留守番カメラを開始すると、DVMパネルは次の表示になり、DV Messengerは外出先からの接続を待機する状態になります（ビデオカメラの液晶画面は消えます）。

❍ リモート留守番カメラを使用している間は、DV Messenger、Windows Messengerは終了しないでください。また、パソコン、ビデオカメラの電源は入れたままにしておく必要があります。パソコンの電源オプション設定により自動的にシステムスタンバイまたはシステム休止状態に移行する場合は、設定を解除してください。設定の変更方法については、パソコンのメーカーまたはMicrosoft社にお問い合わせください。

❍ ノートパソコンを使用する際は、必ずコンセントから電源を供給してください。

❍ リモート留守番カメラ機能を使用している間は、DVMパネルからビデオカメラの操作はできません。ビデオカメラを操作する場合は、 をクリックして表示されるメニューから［リモート留守番カメラの停止］を選んでください。

❍ リモート留守番カメラを開始した状態で24時間が経過すると、ビデオカメラの電源が自動的に切れます。

リモート留守番カメラへ接続する

外出先のパソコンから、リモート留守番カメラで待機しているDV Messengerへ接続して映像を確認できます。

1. 外出先のパソコンで、DV Messengerを起動して、外出先用のアカウントでWindows Messengerにサインインする

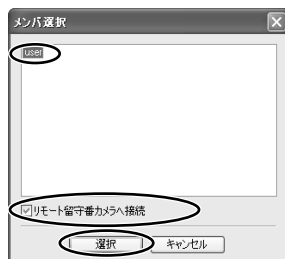
・外出先のパソコンにはビデオカメラを接続する必要はありません。

2. DVMパネルの 接続 をクリックする

・［メンバー選択画面］が表示されます。

3. ［リモート留守番カメラへ接続］をチェック✓して、リモート留守番カメラで待機しているDV Messengerのメンバー名を選択し、［選択］をクリックする

・DV Messengerが接続され、Windows Messengerの会話画面が表示されます。

・自宅用のメンバーが通信相手としてWindows Messengerのメンバーリストに登録されていない場合、表示されません。その場合は、Windows Messengerで通信相手の登録を行ってください。

❍ リモート留守番カメラの場合、カメラモードでのピント合わせは手動ピント合わせ（マニュアルフォーカス）固定となり、自動ピント合わせ（オートフォーカス）には変更できません。［◀］［▶］（フォーカス）または［ワンショットAF］を使用してピント合わせを行ってください。［ワンショットAF］をクリックすると、約10秒間自動でピントを合わせます（オートフォーカス）。

❍ ［ワンショットAF］機能を使用してピント合わせを行っている間は、撮影はできません。

❍ リモート留守番カメラから接続を切断する場合は、DVMパネルの 切断 をクリックしてください。

その他の機能

Windows Messengerの背景を変更する

Windows Messengerの画面内にある背景画像を変更できます。

1. をクリックする

2. リストに登録されている画像から、表示したいファイルを選択して［OK］をクリックする

・新しい画像を登録する場合は［追加］をクリックし、表示されるファイル選択画面で画像ファイルを選んで［OK］をクリックします。追加できるのはGIF形式のファイルのみで、最大10の画像を登録できます。削除する場合は、削除したい画像を選んで［削除］をクリックします。

- ❍ 画像のサイズによっては、一部分しか表示されない場合があります。
- ❍ Windows Messengerの画面のサイズによっては画像と文字が重なるため、文字が見にくくなる場合があります。
- ❍ 画面のプロパティ設定で、ウィンドウの色が白以外の色に指定されている場合、画像が正しく表示されないことがあります。設定の確認は以下の手順で行ってください。
  1）［スタート］メニューから［コントロール パネル］を選ぶ
  2）［デスクトップの表示とテーマ］をクリックする
  3）［画面］をクリックする
  4）［画面のプロパティ］画面の［デザイン］タブをクリックし、［詳細設定］をクリックする
  5）［デザインの詳細］画面の［指定する部分］で［ウィンドウ］を選び、［色1］が白になっていることを確認する

各種設定

をクリックして表示されるメニューから各種設定を行います。

■ 撮影設定

撮影画像の保存場所や、ファイル名などを設定します（📖56）。

■ DVMパネル制御

画像転送と静止画撮影を通信相手が開始した時に、DVMパネルを表示するかどうかを設定します。DV Messengerを終了しても、設定は保存されます。

をクリックして表示されるメニューから[DVMパネル制御]を選ぶ

・設定画面が出ますので、表示のしかたを選んで□に✓をつけます。

パソコンにメモリーカードの静止画／動画を取り込む

❍ ビデオカメラのカード動作ランプが点滅している（メモリーカードの静止画／動画を読み出したりカードへ書き込みをしている）ときは、次のことを必ず守ってください。メモリーカードのデータを破壊することがあります。
- ・メモリーカードカバーを開けたり、メモリーカードやDVケーブルを絶対に抜かない。
- ・ビデオカメラやパソコンの電源を切らない。
- ・電源スイッチやテープ／カード切換スイッチは操作しない。

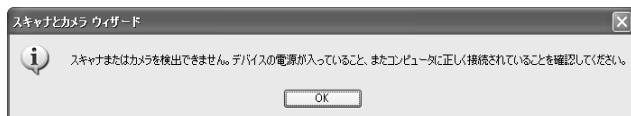
❍ メモリーカードをフォーマットするときは、ビデオカメラ本体で行ってください。

❍ キヤノン製ビデオカメラで撮影した以外の画像ファイルがメモリーカードに記録されている場合、[スキャナとカメラ ウィザード]で正しく縮小画面（サムネイル）が表示されないことがあります。

❍「スキャナとカメラ ウィザード」から、メモリーカードに静止画を書き込むことはできません。

❍［Windowsピクチャーとファxビューアー］、［スキャナとカメラ ウィザード］やエクスプローラー上で、静止画の回転は行わないでください。オリジナルの画像のファイルフォーマットが変更されて静止画の撮影情報などが失われ、ビデオカメラで静止画の確認ができなくなります。

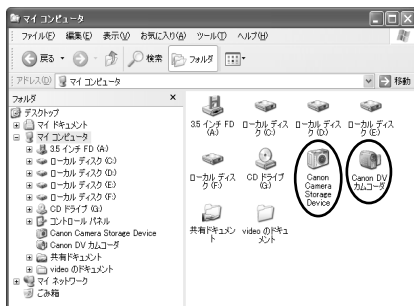
❍ メモリーカードとメモリーカードからハードディスクに読み込んで保存した画像は、大切なオリジナルの画像ファイルです。画像ファイルをパソコンで操作するときは、まず始めに必ず画像ファイルをコピーし、コピーした画像を使用してください。

❍ 次のメッセージが表示されたときは、メモリーカードが正しくビデオカメラに入っていることを確認してください。メモリーカードが正しく入っている場合には、再度ビデオカメラとパソコンを接続しなおしてください。

❍ メモリーカードに記録されている静止画／動画のファイル数が多い場合、「スキャナとカメラ ウィザード」が起動するのに、時間がかかることがあります。

❍ エクスプローラー上で［Canon Camera Storage Device］アイコンを選んだ場合に、フォルダーの内容が正しく表示されないことがあります。この場合には、［表示］メニューから［最新の情報に更新］を選び、再表示してください。

❍ AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーをインストールしたパソコンの場合、ビデオカメラをDVケーブルで接続して、カード再生モードまたはネットワークモードにすると、エクスプローラー上に［Canon Camera Storage Device（カメラ）］アイコンと［Canon DVカムコーダ］アイコンが表示されます。本ドライバーをインストールしていない場合は、［Canon DVカムコーダ］アイコンのみ表示されます。

「Canon Camera Storage Device」アイコン：メモリーカード内に記録した静止画／動画のパソコンへの取り込みとパソコン上のファイルのメモリーカードへの記録ができます。

「Canon DV カムコーダ」アイコン：テープに記録した映像をパソコンで再生できます。

［スキャナとカメラ ウィザード］を使う

［スキャナとカメラ ウィザード］を使って、メモリーカードに記録されている静止画／動画をパソコンに取り込めます。（パソコンに取り込める動画は、お使いのキヤノン製デジタルビデオカメラで撮影してメモリーカードに記録した画像のみです。）

1. ビデオカメラにメモリーカードを入れる

・メモリーカードを入れたら、必ずカバーを閉じてください。

2. ビデオカメラにコンパクトパワーアダプターを接続する

3. ビデオカメラをカード再生モードにする

4. DVケーブルで、ビデオカメラとパソコンを接続する（□20）

・［スキャナとカメラ ウィザード］が自動で起動します。

・自動で起動しない場合は、［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を選び、［Canon Camera Storage Device］アイコンを右クリックします。表示されるメニューから［画像の取得］を選び、クリックします。

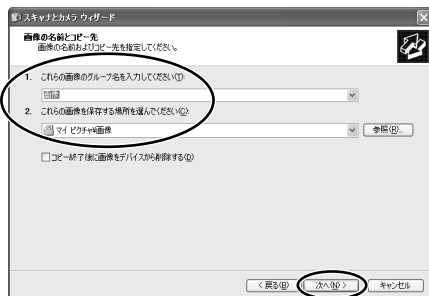
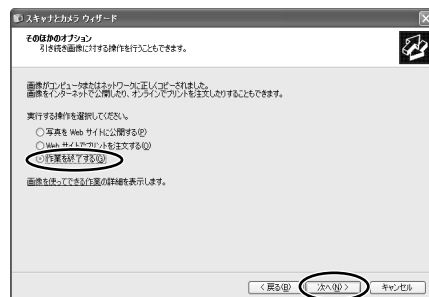
5. ［次へ］をクリックする

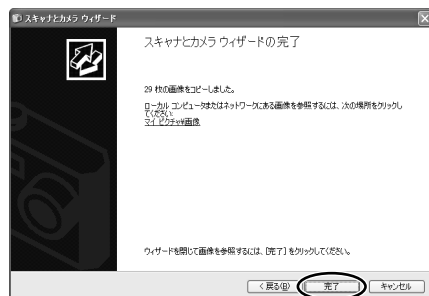
・メモリーカードに記録されたファイルの縮小画像（サムネイル）が一覧で表示されます。

6. パソコンに取り込みたい静止画／動画にチェックマーク☑が付いていることを確認したら、［次へ］をクリックする

7. フォルダー名を入力し、保存先を選び、[次へ] をクリックする

・選んだ静止画／動画の取り込みが始まります。

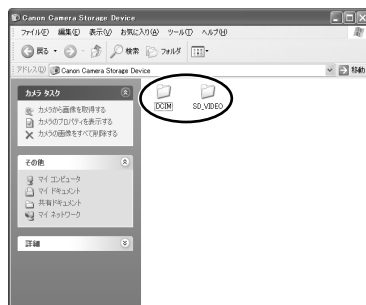
・静止画／動画の取り込みが終わると、[スキャナとカメラ ウィザード] の終了確認画面が表示されます。

8. 終了するときは [作業を終了する] を選び、[次へ] クリックする

9. [完了] をクリックする

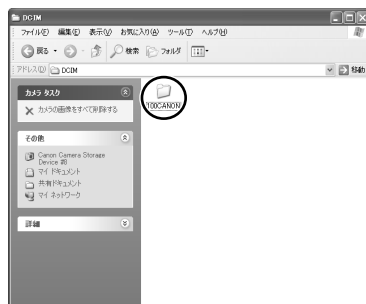
・取り込んだ静止画／動画の保存先フォルダーが表示され、確認ができます。

エクスプローラー上で操作する

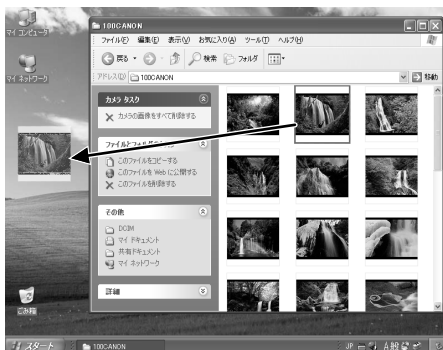
パソコンでエクスプローラーを使って、メモリーカードに記録されている静止画／動画をパソコンに取り込めます。

1. ［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を選ぶ

2. ［Canon Camera Storage Device］アイコンをダブルクリックする

3. ［DCIM］フォルダーをダブルクリックする
（MPEG-4動画の場合は ［SD_VIDEO］フォルダーをダブルクリックする）

4. ［＊＊＊CANON］フォルダーをダブルクリックする
（MPEG-4動画の場合は、［PRL＊＊＊］フォルダーをダブルクリックする）

- ＊には数字が入ります。
- メモリーカードに記録された静止画／動画が表示されます。
- ［表示］メニューから［縮小版］を選ぶと、縮小画像（サムネイル）が表示されます。キヤノン製ビデオカメラで撮影した画像以外のファイルは、縮小画像が表示されないことがあります。
- エクスプローラーから静止画を選び、ダブルクリックすると、静止画を大きく表示できます。静止画以外のファイルをダブルクリックすると、［マイ ピクチャ］に記録されます。

5. 画像を選び、任意のフォルダーにクリックしたまま移動（ドラッグ アンド ドロップ）する

・メモリーカード内の静止画／動画が、パソコンにコピーされます。

または

画像を選び、右クリックして、表示されるメニューから［コピー］を選ぶ

6. 任意のフォルダーを右クリックして、表示されるメニューから［貼り付け］を選ぶ

・メモリーカード内の静止画／動画が、パソコンにコピーされます。

パソコン上のファイルをメモリーカードに記録する

- ❍ SDメモリーカードには、誤消去防止のつまみがついています。SDメモリーカードに静止画を記録するときには、記録できる状態になっていることを確認してください。
- ❍ ビデオカメラ内のメモリーカードにファイルを記録するには、ファイル名を半角英数字（「0」…「9」、「A」…「Z」、「a」…「z」、「_」）で、8文字以内にしてください。ただし、ファイルの拡張子によっては、メモリーカードに記録できないことがあります。（拡張子が4文字以上のファイルは記録できません。）
- ❍ パソコン上で、ファイルをクリックしたまま移動（ドラッグ アンド ドロップ）して、メモリーカード内のフォルダーに記録することはできません。
- ❍ パソコン上のファイルをビデオカメラ内のメモリーカードに記録する場合、ファイルの種類やサイズにより記録できないことがあります。
- ❍ メモリーカードに記録した静止画／動画ファイルは、ファイルの種類やサイズにより、ビデオカメラでは再生できないことがあります。
- ❍ ビデオカメラでメモリーカードに記録した静止画／動画ファイルを、一度、パソコンに取り込んだ後に、再びメモリーカードに記録しなおす場合
  - ・ビデオカメラで再生できないことがあります。
  - ・パソコンに取り込む前にビデオカメラで設定したDPOFの設定は解除されます。

1. ビデオカメラのメモリーカードに記録したいファイルを選ぶ

2. 右クリックして、表示されるメニューから［コピー］を選び、クリックする

3. エクスプローラーからビデオカメラのメモリーカード内にある任意のフォルダーを選び、右クリックして表示されるメニューから［このフォルダに貼り付け］をクリックする

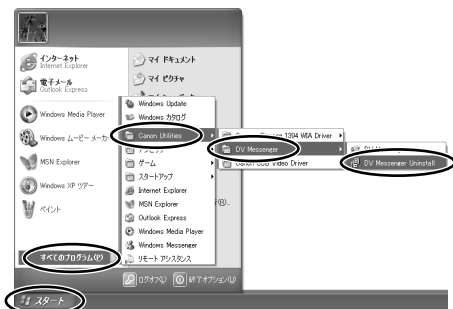
- メモリーカードへの記録が始まります。
- すでに同じ名前のファイルがある場合には、メモリーカードに記録できません。
- メニューに［このフォルダに貼り付け］が表示されない場合は、メモリーカードが記録できない状態になっていることがあります。

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

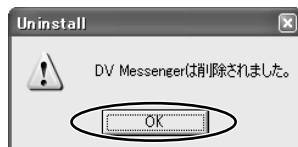
ソフトが正しくインストールされていないときや不要になったときなど、必要に応じて、ソフトをアンインストールします。

アンインストールする前に、使用中のソフトをすべて終了してください。

DV Messengerをアンインストールする

1. ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］▶［Canon Utilities］▶［DV Messenger］▶［DV Messenger Uninstall］を選ぶ

2. アンインストールの確認画面が表示されたら、［はい］をクリックする

・DV Messengerのアンインストールが始まり、削除されます。

3. 削除が完了したら、［OK］をクリックする。

Canon USB Videoドライバー USB 、AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバー IEEE1394 をアンインストールする

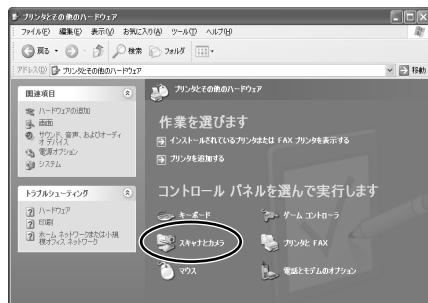
1. ビデオカメラにコンパクトパワーアダプターを接続する

2. Canon USB Videoドライバーを削除する場合：
ビデオカメラをネットワークモードにして、USBケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する
AV/C Camera Storage Subunit-WIAを削除する場合：
ビデオカメラをカード再生モードにしてDVケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する

- DVケーブルで接続していて「スキャナとカメラ ウィザード」が起動している場合は、終了してください。また、エクスプローラーも終了してください。

3. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選ぶ

4. ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

5. ［スキャナとカメラ］をクリックする

・［プリンタとその他のハードウェア］に［スキャナとカメラ］が見当たらない場合は、「ドライバーのアンインストールがうまくいかなかったとき」（🕮86）をご覧ください。

6. [Canon USB Video]（USBケーブル接続時）アイコンまたは［Canon Camera Storage Device］アイコン（DVケーブル接続時）を選び、右クリックする

・［スキャナとカメラ］フォルダーに［Canon USB Video］（USBケーブル接続時）または［Canon Camera Storage Device］（DVケーブル接続時）がない場合、は「ドライバーのアンインストールがうまくいかなかったとき」（🕮86）をご覧ください。

7. 表示されるメニューから、［削除］を選び、クリックする

USBケーブル接続時

DVケーブル接続時

8. [Canon USB Videoを削除しますか？]（USBケーブル接続時）または[Canon Camera Storage Deviceを削除しますか？]（DVケーブル接続時）の表示が出たら、[はい] をクリックする

・ドライバーのアンインストールが始まり、削除されます。

・[Canon USB Video]（USBケーブル接続時）または「Canon Camera Storage Device」（DVケーブル接続時）の後ろに、「＃＊（数字)」が付くことがありますが、ドライバーの削除には支障はありません。

USBケーブル接続時は、上記手順を行っても Canon USB Video ドライバーの一部の［Canon USB Video Control］が削除されずに残ります。
Canon USB Video ドライバーを完全に削除するには、「ドライバーのアンインストールがうまくいかなかったとき」（□ 86）の手順で［Canon USB Video Control］を削除してください。

こんなときは

Canon USB Videoドライバーについては85ページを、AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーについては85ページを、Canon USB Videoドライバー USB /AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバー IEEE1394 のアンインストールがうまくいかなかったときについては86ページをご覧ください。

DV Messenger

■ 接続

? キヤノン製ビデオカメラを使用時に、「オーディオチューニングウィザード」画面で「Canon USB Video」、「Canon DVデバイス」のどちらも表示されない

➜ ビデオカメラが正しくパソコンに接続されていません。USBケーブルまたはDVケーブルで正しく接続し直してください。

➜ ネットワークモードがあるビデオカメラをお使いの場合は、ネットワークモードになっていることを、ご確認ください。
ネットワークモードがないビデオカメラをお使いの場合は、ビデオカメラの電源スイッチが「切」以外になっていることを、ご確認ください。

➜ Windows Updateで「Windows Messengerのオーディオに関連するアップデート」をインストールしてください。詳しくは、Microsoft社にお問い合わせください。

? DV Messengerの接続ができない

➜ 通信相手がDV Messengerを起動していないと接続できません。
通信相手がDV Messengerを起動した後に接続してください。
通信相手がDV Messengerをお持ちでない場合は、キヤノンのホームページから最新のDV Messengerをダウンロードしてもらってください。

➜ 通信相手がDV Messenger Version 1.0を使用している場合は接続できません。キヤノンのホームページから最新のDV Messengerをダウンロードしてもらってください。

➜ ルーターを使用している場合は、UPｎP対応のルーターが必要です。UPｎP対応のルーターであることを確認してください。詳しくは、ルーターのメーカーにお問い合わせください。また、WindowsのネットワークでUPnP対応ルーターが「インターネットゲートウェイデバイス」として認識されている必要があります（🕮23）。上記の2つの条件を満たすものであっても、すべてのUPnP対応ルーターの動作を保証するものではありません。
なお、ファイアーウォールが動作している場合はDV Messengerに接続できません。詳しくは「ファイアーウォールを解除する（🕮26）」をご覧ください。

➜ パソコンにウィルス対策ソフトや、インターネットセキュリティソフトがインストールされている場合、そのソフト独自のファイアーウォール機能が動作している場合があります。その場合は、お使いのソフトのファイアーウォール機能の設定を無効にしてください。詳しくは、お使いのソフトの使用説明書をご覧いただくか、お使いのソフトウェアのメーカーまたは、お使いのパソコンのメーカーにお問い合わせください。

? DV Messengerを接続したときに、♯で始まる文字列が送信される

➜ 接続に必要な情報を暗号化したテキストデータです。DV Messengerは接続を開始するときにインスタントメッセージで情報を送信します。

? DV Messengerの接続に時間がかかったときに、インスタントメッセージが送信される

➜ 接続しようとしたとき、約30秒以上通信相手からの応答がない場合は自動的にWindows Messengerのインスタントメッセージが送信されます。メッセージはDV MessengerをVersion1からVersion2へのバージョンアップをすすめるもので6ヶ国語（日本語、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語）で同じ内容が送信されます。

➜ DV Messenger Version1.0を使用して接続しようとした場合は自動的にWindows Messengerのインスタントメッセージが6ヶ国語（日本語、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語）で同じ内容が送信されます。

? ネットワークモードのないキヤノン製ビデオカメラを使用している場合、ビデオカメラをカード再生モードにしても、DVMパネルが[カード]画面に変わらない

➜ AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーが正しくインストールされていることを、ご確認ください。

確認手順

① カード再生モードにする
② ビデオカメラをDVケーブルでパソコンに接続する
③ [スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選び、クリックする
④ [スキャナとカメラ]の中に、[Canon Camera Storage Device]があることを確認する。[Canon Camera Storage Device]がない場合は、AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバーをインストールしてください。

? キヤノン製ビデオカメラを使用している場合、ビデオカメラを接続してもDVMパネルに「ビデオカメラが正常に接続されていません」という表示が出る。

➜ ネットワークモードがあるビデオカメラの場合は、ビデオカメラをネットワークモードにしてください。

➜ ネットワークモードがないビデオカメラがUSBケーブルで接続されています。DVケーブルで接続してください。

■ テレビ電話

? ビデオカメラの液晶画面には映像が表示されるのに、Windows Messenger の[会話]画面に表示されない

➜ ビデオカメラが正しくパソコンに接続されていません。USBケーブルまたはDVケーブルで正しく接続し直してください。

➜ 通信中に、ビデオカメラの設定を変更すると、Windows Messengerが映像と音声をビデオカメラから受信できなくなることがあります。その場合は、[カメラの中止]をクリックし、つぎに[カメラの開始]をクリックして、通信を再開してください。

➜ キヤノン製デジタルビデオカメラでは、2倍/3倍録画モード（E SP/E LP）を搭載している機種があります。2倍/3倍録画モードは、Windows Messengerに対応していません。ビデオカメラをカメラモードで使用する場合は、ビデオカメラのメニュー設定で、録画モードが「E SP」または「E LP」モードになっていないことをご確認ください。再生（VTR）モードで使用する場合は、ビデオカメラの液晶画面でテープがSPモードまたはLPモードで記録されていることをご確認ください。

➜「オーディオチューニングウィザード」で使用するカメラを正しく設定していることをご確認ください。一度[カメラの中止]をクリックし、「オーディオチューニングウィザード」で設定を行い、つぎに[カメラの開始]をクリックし、通信を再開してください。

? Windows Messenger の[会話]画面に相手の映像が表示されているのに相手の音声が聞こえない

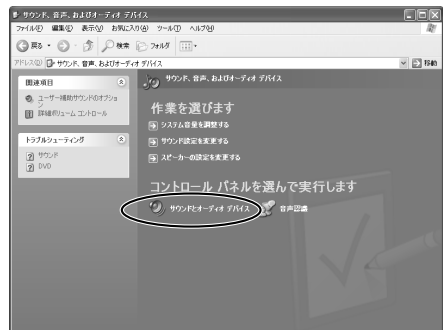
➜ 通信相手がメモリーカード対応で、ネットワークモードのないビデオカメラを使用している場合は、テープ/カード切換スイッチが「(テープ)」になっていることをご確認ください。

➜ Windows Messengerの[会話]画面の[スピーカー]のつまみの位置をご確認ください。つまみが一番左の位置にある場合は、つまみを動かして右の音量表示が動作するようにしてください。

➜ コントロールパネルからサウンドデバイスの音量を開いて、[ミュート]になっていないことをご確認ください。

① [スタート]メニューから[コントロール パネル]を選ぶ

② [コントロール パネル]で[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]をクリックする

③ [サウンドとオーディオ ディバイス]をクリックする

④ [音量]タブの[ミュート]がチェックされていないことを確認する

➜ 一度Windows Messenger の[会話]画面の[カメラの中止]をクリックして通信を中止し、通信相手に[オーディオチューニングウィザード]のマイクの設定を確認してもらってください。

? 相手に自分のビデオカメラの映像は送信できているのに音声が送信できない

➜ 自分のメモリーカード対応のネットワークモードのないビデオカメラをカメラモードにしている場合は、テープ/カード切り換えスイッチが「▭（テープ）」になっていることをご確認ください。

➜ Windows Messenger の[会話]画面のマイクのつまみの位置をご確認ください。
つまみが一番左の位置にある場合は、つまみを動かして右の音量表示が動作するようにしてください。

➜ キヤノン製ビデオカメラを使用している場合、Windows Messenger の[会話]画面の[カメラの中止]をクリックし、[オーディオチューニングウィザード]でマイクの設定が[Canon USB Video] または[Canon DV デバイス]になっていることをご確認ください。

➜ 通信相手のスピーカー設定が正しく設定されていません。詳しくは「[会話]画面に相手の映像が表示されているのに相手の音声が聞こえない」をご覧のうえ、その内容を通信相手に確認してもらってください。

? 音声にエコーがかかって聞こえる

➜ スピーカーをお使いの場合、音量とマイクの感度によってはスピーカーから音声がマイクを通して再度送信されて、エコーがかかったように聞こえることがあります。スピーカーの向きや音量を変えたり、ビデオカメラとスピーカーの距離を離して、エコーが聞こえなくなるように調整してください。スピーカーの代わりにヘッドホンをお使いになることをおすすめします。

? 音声がミュートできない

➜ マイク音量調整用のつまみが左端にあり、音量表示がミュート（無音）状態を示している場合でも、相手に音声が送信されることがあります。その場合は、つまみを右側に動かした後に、再度左端に動かすと、相手に音声が送信されなくなります。

? テープ再生時に一時停止や再生コントロールを使用して再生を行うと変な音が聞こえる

➜ お使いのビデオカメラによっては、一時停止や再生コントロールを使用して再生を行うと、「ブーン」、「シャカシャカ」というような音がWindows Messengerで聞こえる場合があります。ビデオカメラの故障ではありません。そのままご使用ください。

? カメラの中止や会話の終了に時間がかかる

➜ USBケーブルで接続しているときは、時間がかかることがあります。

? ビデオカメラを操作できない

➜ 通信相手のビデオカメラが操作できないときは、通信相手が操作の許可を行っていません。

➜ ビデオカメラがパソコンに正しく接続されていません。

➜ キヤノン製のネットワークモードがないビデオカメラを使用している場合、ビデオカメラがカメラモードに設定されているとき、機種によっては一定時間ビデオカメラを操作しないと、ビデオカメラのデモンストレーションが始まることがあります。デモンストレーション中は、DVMパネルを使ってビデオカメラを操作できないことがあります。その場合は、ビデオカメラの本体でズーム操作を行うと通常の画面に戻ります。

? テープ再生時にコマ送りを行うと、DVMパネルの動作表示がおかしくなることがある

➜ コマ送り動作中は、一時的にスロー再生動作を行うため、DVMパネル上に「スロー」と表示される場合があります。

? ビデオカメラがカメラモードのとき、DVMパネルでピントの操作ができない

➜ キヤノン製ネットワークモードのないビデオカメラを使用している場合、お使いのビデオカメラの撮影モードが全自動モード（□）のときは、マニュアルフォーカス（手動ピント合わせ）は使用できません。マニュアルフォーカスを行う場合は、撮影モードを全自動（□）以外に設定してください。

➜ 使用しているビデオカメラがXL1Sの場合、DV Messengerでピント合わせのモードは切り換えられません。XL1S本体のスイッチでマニュアルフォーカスに切り換えてから、DVMパネルでピント操作を行ってください。

? カメラモードで使用中に、ビデオカメラの電源が切れてしまう

➜ キヤノン製のネットワークモードがないビデオカメラを使用している場合、ビデオカメラがカメラモードで、記録可能なテープが入っていると、テープとヘッドが傷むのを防ぐため、一定時間経過すると自動的にビデオカメラの電源が切れます。カメラモードで使用する場合は、ビデオカメラにテープを入れないか、テープを録画できない状態にしてください。

➜ リモート留守番カメラでは、開始から24時間経過すると自動的に電源が切れます。

➜ インターバル撮影では、開始から24時間経過すると自動的に電源が切れます。

■ 画像転送

? 転送許可設定ができない

➜ ビデオカメラにメモリーカードが入っていません。

➜ ビデオカメラ内のメモリーカードに転送可能な画像ファイルが記録されていません。
転送可能な画像ファイルは、静止画（JPG)、動画ファイル Motion JPEG (AVI)、MPEG-4（ASF）です。
キヤノン製ビデオカメラでメモリーカードに記録した画像ファイル以外は、縮小画面（サムネイル）が表示されないことがあります。

➜ メモリーカードカバーが開いていると、転送許可設定ができないことがあります。ビデオカメラのメモリーカードカバーが閉じているかどうか、確認してください。

➜ DVケーブルで接続していて、ファイル転送機能を使用するソフト（「スキャナとカメラ ウィザード」など）が起動されいてる場合、転送許可設定はできません。「スキャナとカメラ ウィザード」などのソフトを終了してください。

➜ DVケーブルで接続している場合、ビデオカメラを接続したときに起動するソフトを選ぶ画面が表示されている場合、転送許可設定ができない場合があります。表示されている画面を閉じてください。接続したときの動作を「何もしない」に設定することをおすすめします。詳しくは「ソフトウェアの自動起動の設定を変えるとき（ 📖 18)」をご覧ください。

? 画像転送中に、進行状況を表す画面が変化しない

➜ 転送したい画像ファイルのサイズが大きい場合、ビデオカメラからパソコンへの転送に時間がかかる場合があります。パソコンへ転送中は、進行状況を表す画面は変化しません。しばらくして、通信相手と自分との間でパソコンからパソコンへの画像ファイル転送が始まると画面が変化します。

➜ 自分または通信相手がアナログモデムなどの低速回線でインターネットに接続している場合、画像転送に時間がかかるため、しばらく画面が変化しないことがあります。

? 画像転送ができない

➜ 通信相手のビデオカメラにメモリーカードが入っていません。

➜ 通信相手のビデオカメラ内のメモリーカードに転送可能な画像ファイルが記録されていません。

➜ 通信相手が転送許可設定していません。設定してもらってください。

➜ 通信相手が転送許可設定している途中です。設定が終わってから、画像を転送してください。

➜ メモリーカードカバーが開いていると、画像転送ができないことがあります。通信相手にビデオカメラのメモリーカードカバーが閉じているかどうか、確認してもらってください。

➜ 通信相手のパソコンで、ファイル転送機能を使用するソフト（「スキャナとカメラ ウィザード」など）が起動されいてる場合、画像転送機能が使用できません。通信相手に「スキャナとカメラ ウィザード」などのソフトを終了してもらってください。

➜ 通信相手のパソコンで、ビデオカメラを接続したときに起動するソフトを選ぶ画面が表示されている場合、画像転送機能が使用できない場合があります。通信相手に、表示されている画面を閉じてもらってください。

? 転送許可設定、画像選択画面で画像ファイルが正しく表示されない

➜ お使いのビデオカメラで記録した画像以外は正しく表示できないことがあります。

➜ 1画像ファイルのサイズが20MBを超える場合、その画像は表示されません。

? 転送許可設定で設定した内容がリセットされて、すべて不許可になってしまう

➜ ビデオカメラ本体のスイッチを操作したり、メモリーカードを抜き差しすると、設定した内容はリセットされます。もう一度設定してください。

■ リモート留守番カメラ

? リモート留守番カメラを開始できない

➜ キヤノン製のネットワークモードがあるビデオカメラがパソコンに接続されていない場合、リモート留守番カメラを開始できません。

➜ リモート留守番カメラの接続を許可するメンバーを設定していない場合、リモート留守番カメラを開始できません。詳しくは「接続を許可するメンバーを設定する（📖59）」をご覧ください。

➜ Windows Messengerにサインインしていない場合、リモート留守番カメラを開始できません。

? リモート留守番カメラに接続できない

➜ 接続先のDV Messengerで、リモート留守番カメラの接続を許可するメンバーとして登録されていません。（📖59）

➜ リモート留守番カメラを開始して24時間が経過すると、自動的にリモート留守番カメラ機能は停止します。24時間経過後はリモート留守番カメラに接続できません。

➜ リモート留守番カメラを開始したパソコンがスタンバイ状態、休止状態になっている場合はリモート留守番カメラに接続することができません。設定の変更方法については、パソコンのメーカーまたはMicrosoft社にお問い合わせください。

➜ ご契約のインターネットプロバイダがユーザーに割り当てるグローバルIPアドレスを定期的に変更している可能性があります。DV Messenger起動時に割り当てられていたIPアドレスと接続しようとしたときに割り当てられているIPアドレスが異なっている場合は接続できません。詳しくは、ご契約のインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

■ Windows Messenger

? Windows Messengerの背景切り換えがうまくできない

➜ ファイルが損傷している可能性があります。ファイルを確認してください。

➜ 透過GIFファイルを設定した場合、透過処理された部分は正しく表示されません。

➜ アニメーションGIFでは最初の画面が表示されます。

? Windows Messengerを終了できない

➜ DV Messengerが起動している間は、Windows Messengerを終了できません。DV Messengerを終了してから、Windows Messengerを終了して下さい。

■ DV Messengerの削除（アンインストール）

? スタートメニューからDV Messengerをアンインストールしても、コントロールパネルの[アプリケーションの追加と削除]を開くと[DV Network Software]が残っている

➜ [アプリケーションの追加と削除]から[DV Network Software]を選び、[削除]をクリックすると[DV Network Software]が削除できます。

Canon USB Video ドライバー USB

? キヤノン製ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで接続しているが、パソコンにビデオカメラが認識されない（エクスプローラー上に[Canon USB Video]アイコンが表示されない）

➜ ビデオカメラがネットワークモードになっていません。ビデオカメラをネットワークモードにしてください。

➜ USBケーブルが正しく接続されていません。接続方法をご確認ください。

➜ ドライバーが正しくインストールできていません。ドライバーをアンインストール（📖74）してから、再度、インストールし直してください（📖16）。

? ドライバーのファイルが見つからない

➜ DV Network Softwareから、ドライバーが正しくインストールされていません。ドライバーをインストールし直してください。

AV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバー IEEE1394

■ インストール

? キヤノン製ビデオカメラとパソコンをDVケーブルで接続しているが、パソコンにビデオカメラが認識されない（エクスプローラー上に[Canon Camera Storage Device]アイコンと[Canon DVカムコーダ]アイコンが表示されない）

➜ ビデオカメラがネットワークモードまたはカード再生モードになっていません。ビデオカメラをネットワークモードまたはカード再生モードにしてください。

➜ IEEE1394端子（ポート）が標準装備でない場合、IEEE1394アダプターカードが正しく装着されていません。装着方法をご確認ください。

➜ DVケーブルが正しく接続されていません。接続方法をご確認ください。

➜ ドライバーが正しくインストールできていません。ドライバーをアンインストール（📖74）してから、再度、インストールし直してください（📖17）。

? ドライバーのファイルが見つからない

➜ DV Network Softwareから、ドライバーが正しくインストールされていません。ドライバーをインストールし直してください。

■ 静止画／動画の取り込み

? Canon Camera Storage Deviceが認識されない

➜ ビデオカメラのメモリーカードカバーが開いています。ビデオカメラからDVケーブルを抜き、メモリーカードカバーを閉じてから、接続し直してください。

■ パソコンからメモリーカードにファイルの追加

? メモリーカードにファイルを追加できない

➜ メモリーカードの空き容量が、不足しています。

➜ SDメモリーカードの場合、記録（書き込み）ができない状態になっています。メモリーカードの誤消去防止のつまみを記録できる状態に切り換えてください。

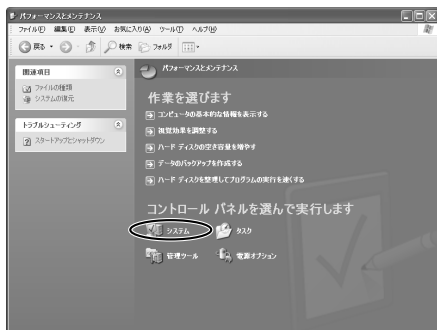
Canon USB Video ドライバー USB / AV/C Camera Storage Subunit-WIA ドライバーIEEE 1394 のアンインストールがうまくいかなかったとき

ドライバーのアンインストールがうまくいかなかったときには、以下の操作で削除してください。

次の場合も、同様の操作で削除してください。
- ❍「プリンタとその他のハードウェア」に［スキャナとカメラ］が見当たらないとき
- ❍［スキャナとカメラ］フォルダーに[Canon USB Video]（USBケーブル接続時）または［Canon Camera Storage Device］アイコン（DVケーブル接続時）がないとき

1. ［スタート］メニューから［コントロール パネル］を選ぶ

2. ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

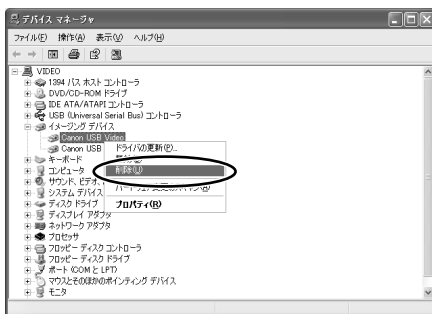
3. ［システム］をクリックする

4. ［システムのプロパティ］の［ハードウェア］タブをクリックする

5. ［デバイスマネージャ］をクリックする

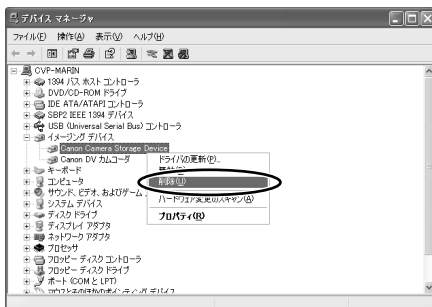
6. ［イメージングデバイス］または［その他のデバイス］に[Canon USB Video]と[Canon USB Video Control]（USBケーブル接続時）または[Canon Camera Storage Device]（DVケーブル接続時）があるときは、削除する

USBケーブル接続時

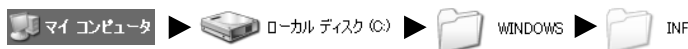
①[Canon USB Video]、[Canon USB Video Control]を選び右クリックする

②表示されるメニューから［削除］を選び、クリックする

③確認画面が出たら、［OK]をクリックし、［デバイス　マネージャ］と［システムのプロパティ］を閉じる
[Canon USB Video]、[Canon USB Video Control]が［イメージング デバイス］と［その他のデバイス］の両方にあるとき、または「その他のデバイス」に複数あるときは、全て削除します。

DVケーブル接続時

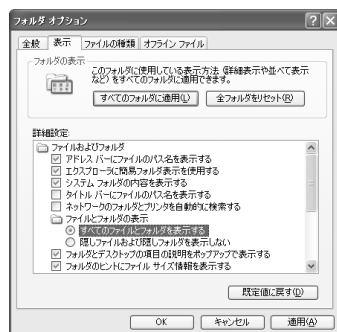
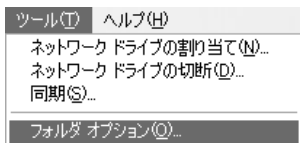
①［Canon Camera Storage Device］を右クリックする
②表示されるメニューから［削除］を選び、クリックする

③確認画面が出たら、［OK］をクリックし、［デバイス マネージャ］と［システムのプロパティ］を閉じる

・［Canon Camera Storage Device］が［イメージング デバイス］と［その他のデバイス］の両方にあるとき、または「その他のデバイス」に複数あるときは、全て削除します。

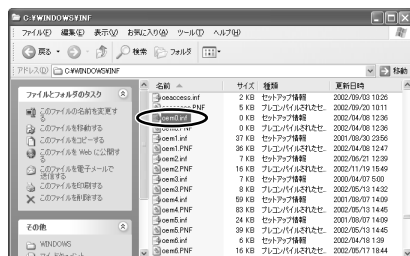
7. ［スタート］メニューの［マイ コンピュータ］から、①［C:］②［WINDOWS］フォルダー ③［INF］フォルダーをダブルクリックする

・［WINDOWS］フォルダー内に［INF］フォルダーが見当たらないときは

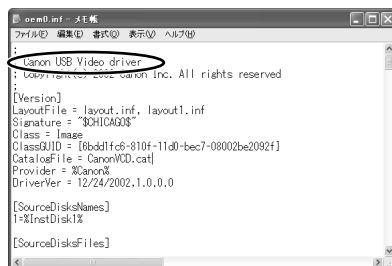
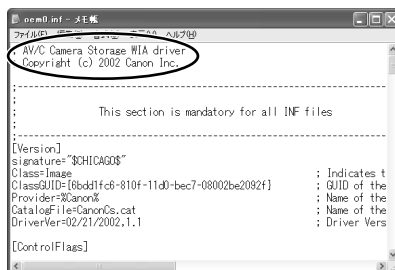
1.［ツール］メニューの［フォルダ オプション］を選ぶ

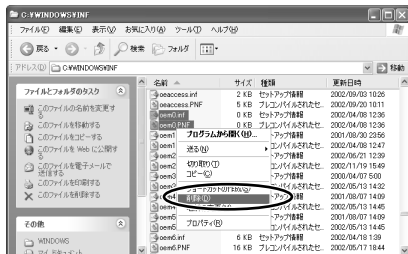
2.［表示］タブをクリックする

3.［詳細設定］の［ファイルとフォルダの表示］で、［すべてのファイルとフォルダを表示する］を選ぶ

・［登録されている拡張子は表示しない］に☑（チェックマーク）がついているときは、クリックしてチェックを外してください。

6. [Oem＊.inf] ファイルをダブルクリックして、Canon Video Class ドライバー（USBケーブル接続時）またはAV/C Camera Storage Subunit-WIAドライバー（DVケーブル接続時）の設定ファイルをさがす

・＊には、数字が入ります・［Oem＊.inf］ファイルは、[Oem＊.pnf] ファイルと組になっていて、＊の数字は同じです。[INF] フォルダー内には、複数組の［Oem＊］ファイルが存在することがあります。

・メモ帳が開き、ファイルの内容が表示されます。これをくり返し、先頭に「; Canon USB Video driver」（USBケーブル接続時）または「; AV/C Camera Storage WIA driver」（DVケーブル接続時）と記述されているファイルを探します。ファイルを見つけたら、そのファイルと同じ組の［pnf］ファイルを削除します。

USBケーブル接続時

DVケーブル接続時

①メモ帳を閉じる

②該当する［Oem＊.inf］と［Oem＊.pnf］（＊は同じ数字が入ります）を選択した状態で、選択したファイルの上でマウスを右クリックして、表示されるメニューから［削除］を選び、クリックする

7. 全ての画面を閉じてから、パソコンを再起動する

・ドライバーのアンインストールは完了です。

［INF］フォルダー内には、たくさんのファイルがあります。間違えて、他のファイルを削除しないように、十分ファイル名を確認してから削除してください。誤って異なるファイルを削除すると、Windowsが起動しなくなる可能性があります。

Canon

お客様ご相談窓口

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2丁目16番6号

付属のソフトウェアに関するご相談窓口

お問い合わせ

キヤノン販売　お客様相談センター

全国共通番号　ナビダイヤル　**0570－01－9000　該当番号 66**

受付時間：平日 9:00～20:00　土・日・祝日 10:00～17:00
（1月1日～1月3日を除く）

お電話がつながりましたら、音声ガイダンスにしたがって、デジタルビデオカメラの該当番号<66>をお話しください。音声認識後、商品担当者におつなぎします。

全国64ヶ所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
なお、PHS・海外からの電話をご使用の方は、03－3455－9353をご利用ください。

※ 音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 電話の回線状態等によっては、正しく音声認識されない場合があります。その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ちください。

キヤノンデジタルビデオカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。
デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/dv

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

PUB. DIJ-148

DY8-9010-106-000